

総合資料館 業務概要

－ 平成23年度のまとめ －

京都府立総合資料館

目 次

1	新たな施設整備に向けた取組(経過)	1
2	新たな施設整備に向けた検討と連動した取組	4
3	利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)	4
4	展覧会、府民講座、情報発信等の取組	5
5	京都府行政文書修理事業	10
6	資料の収集・整理・保存	10
	(1) 図書資料	10
	(2) 文書資料	17
	(3) 管理委託現物資料	22
7	調査	23
	(1) 古文書	23
	(2) 写真資料	23
	(3) 行政文書	23
8	閲覧	24
	(1) 図書資料	24
	(2) 文書資料	31
	(3) 管理委託現物資料	33
9	東寺百合文書の翻刻	33
10	共同研究等	33
	(1) 大学等研究機関との共同研究	33
	(2) 学会等視察受け入れ	35
	(3) 大学学外授業等の受け入れ	35
	(4) 大学への出講	35
11	図書館実習・インターンシップ	35
	(1) 図書館実習	35
	(2) インターンシップ	35
12	館蔵資料の撮影と複写	35
13	資料の貸与	36
	(1) 図書資料	36
	(2) 文書資料	38
	(3) 管理委託現物資料	38
14	図書館間相互貸出	39
	(1) 府内公共図書館等	39
	(2) 国立国会図書館	40
15	施設の状況	40
16	組織・業務分担・予算(平成24年4月1日現在)	42
	(1) 組織	42
	(2) 職員数	42
	(3) 業務分担	43
	(4) 予算状況(平成24年度当初予算)	43
17	平成23年度の主な活動	44
18	沿革	45
	(参考) 館蔵資料の国宝等指定一覧(平成24年3月31日現在)	48

1 新たな施設整備に向けた取組(経過)

府立総合資料館は、京都に関する歴史、文化、産業、生活等の諸資料を総合的に収集し、これを整理・保存して、閲覧に供し、又は展示することにより、府民の調査研究等に一般に供することを目的として、昭和38(1963)年に設置されました。

平成19(2007)年以降、施設の老朽化、総合資料館の機能や取り巻く環境の変化等を踏まえ、より一層府民の皆様のご期待に応えうる施設となるよう、館の果たすべき役割・機能のあり方を見据えながら、次のとおり、新たな施設整備に向けた検討を進めています。

◆ 「総合資料館あり方検討プラン」(平成19年度策定)の概要

○ 新たな総合資料館の基本コンセプト

「京都に関する資料を収集・保存・提供する施設」として、京都と日本の学術・文化の振興に貢献するとともに、だれもが身近に利用できる施設として府民ニーズに応える。

○ 基本コンセプト実現のために担うべき5つの役割

- ① 京都に関する歴史・文化関係資料の収集・保存とデータベースの構築
- ② 京都に関する専門研究の振興
- ③ 生涯学習等の支援
- ④ 次世代の教育支援
- ⑤ ネットワーク機能の強化

○ 新たな施設整備

府立大学をはじめとする大学等の研究機関や周辺施設等と連携しながら、所蔵資料の価値を最大限府民に還元できるように、北山地域において新たな施設整備を図る。

◆ 「総合資料館基本構想」(平成20年度策定)の概要

○ 基本方針

- ① 京都に関する過去・現在について調べることのできる施設として、創設以来蓄積してきたノウハウを十分に発揮し、京都に関する資料を的確に収集・保存し、後世に確実に継承するとともに、引き続き、収集・整理・提供に努める。
- ② 新資料館の基本姿勢、性格を明確にするため、収集・保存・提供に関するガイドラインを策定し、公表する。

○ 重点事項

- ① 京都に関する資料の収集・保存と積極的活用
- ② 公文書館機能の充実
- ③ 研究・学習・教育支援とネットワーク機能の強化
- ④ 北山地域のなかの総合資料館

○ その他検討を要する課題

- ① 効率・効果的な運営
 - ・ 開館日、開館時間、資料提供方法等の検討を進め、公表
 - ・ 外部評価機関による評価・指導や協働・協力組織の育成
- ② 設置根拠等の整備
 - ・ 新資料館設置条例、組織体制、名称・愛称

◆ 北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告(平成21年度策定)の概要

北山地域が、府民が憩いやすらぐ場として、また、文化・環境・学術の交流発信拠点となるよう、将来像の基本的方向性『街区構想』を描く。

△ 街づくりのコンセプト

- 文化と環境に包まれたやすらぎと交流のなかで、京都を世界に発信する街
- 開放感あふれ、歩いてまわりたくなる街

△ 機能を整える視点(北山地域のエリアイメージ)

38ヘクタールもの広大な地域を、交通や人の流れ、周辺環境等を総合的に考慮し、次の5つのエリアに分け、そのイメージに沿った街づくりを進めることで、地域のポテンシャルを最大限に引き出す。

- 感じる(文化) …………… 主として北山通から近い地域
- 学ぶ(学術) …………… 主として北山通から遠い地域
- やすらぐ(環境) …………… 主として植物園地域
- 憩う(親水) …………… 主として賀茂川沿い地域
- ふれあう(交流) …………… 主として北山通沿い地域

△ 総合資料館と府立大学とが連携する新施設の整備の方向性

新資料館については、府立大学等との連携を格段に強化するとともに、「北山文化環境ゾーン整備推進」全体の観点から府立大学施設の一部との合同整備を進める。

- 新施設(新資料館、府立大学文学部研究室・附属図書館等)は、京都の歴史・文化に関する資料を収集・保存・調査・研究するとともに、広く一般に提供し、その調査・研究や学びを支援し、国内外に情報を発信する拠点とする。

- ① 「国際京都学センター」(資料館内)を設置し、全国的・国際的交流と情報発信の拠点とする。

<国際京都学センター>

- ・ 高度な「京都学」の構築・研究のコーディネーター
- ・ 京都研究の啓発・普及・支援活動の拠点
- ・ センター設置に不可欠な総合資料館と府立大学(文学部研究室・附属図書館)の合同整備

- ② 連携強化による他の新たな機能の発揮

- ・ 府立大学との連携強化により、双方の資料等の一層広範で利便性に富む府民提供方法の開発
- ・ 京都調査・研究に関するレファレンスの積極的展開
- ・ 府民との一層多様な研究・学習交流の場の提供
- ・ 双方の特性を活かした院生や学生対象の各種教育プログラムの共同開発と社会人への提供等

- ③ 新総合資料館の新たな機能の展開

- ・ 資料館「基本構想」で提案された4機能の基本方向の具体化と体制整備
- ・ 府立大学、府立植物園等との連携の具体化
- ・ 府立の図書館、郷土資料館等関係機関との連携の推進方策を具体化(可能なものから実施)

◆ 北山文化環境ゾーン整備委員会検討結果(平成21年度)概要

△ 新施設(新総合資料館、府立大学文学部・附属図書館の合同(1施設)整備)

- 「国際京都学センター」の設置による全国的・国際的交流と情報発信
 - ・ 京都に係る「知」の更なる深化(共同研究の推進)
 - ・ 京都しらべ・学習環境の充実・強化
- 総合資料館・府立大学文学部・附属図書館連携による機能・府民サービス向上
 - ・ 京都関係資料の収集・保存・提供、研究・学習・教育の充実・拡大
 - ・ 閲覧ワンフロア化と利用期間・時間拡大による府民サービスの向上
 - ・ 府民等の知的関心・活動への支援強化
 - ・ 施設規模 24,000㎡程度
- 3大学(府立医大、府立大、京都工芸繊維大)教養教育共同化施設
 - ・ 3大学教養教育共同カリキュラム、3大学連携研究・ゼミ等の実施・学生等の交流
 - ・ 医科大学医学科・看護学科の教養教育の機能移転(研究室、実習室、講義室等)
 - ・ 施設規模 9,000㎡程度

◆ 新たな施設整備に向けた対応(平成22年度)概要

- 公募型設計競技の実施に向けた「新総合資料館(仮称)設計競技要項・設計条件(案)」の作成
 - ・ 新館は、「国際京都学センター」、府立大学文学部・附属図書館との複合施設
 - ・ 閲覧ワンフロア化をはじめとする諸形態・設計条件等について本庁・府立大学と調整
- 国際京都学センター設立準備委員会設立協議(本庁・府立大学との共同)
 - ・ 同センターのコンセプト、機能、体制等の検討
- 「京の記憶ライブラリ」の構築
 - ・ 総務省交付金を活用し、「京の記憶ライブラリ」システムの構築と東寺百合文書をはじめ約10,000点の資料をデジタル化した上で、従来の「京都北山アーカイブズ」を加え、「知デジタル京都」としてリニューアル
 - ※「京の記憶ライブラリ」: キーワード、カテゴリー検索により画像等を検索・表示・印刷するシステム(23.4.1~館内運用、23.7.1~インターネット配信)

◆ 新たな施設整備に向けた取組(23年度)概要

- 設計業者との協議(本庁、府立大学との共同)
 - 館内にハード検討チームを設置し、公募型設計協議により決定された設計業者と新資料館、国際京都学センターに係る平面プランについての協議を行った。
 - ① 新資料館部門: 閲覧、展示、収蔵等の各施設の基本構造及び設備
 - ② 国際京都学センター部門: 京都学ラウンジ、講堂、セミナー室等の基本構造及び設備
- 国際京都学センター設立準備に係る協議(本庁、府立大学との共同)
 - ・ 同センターのコンセプト、機能、体制等の検討
 - ・ キックオフ事業の検討・予算化(国際シンポジウム、研究プロジェクト)
- 統合データベース構築に係る検討・協議
 - ・ 京都の歴史・文化に関する発信拠点となるべく、館蔵資料(60万点)の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向けた検討・予算化

- 所蔵資料に係る目録の電子データ化
 - ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録を作成

2 新たな施設整備に向けた検討と連動した取組

◆ 外部機関と連携した取組

- 府立大学文学部歴史学科との共同研究（平成14年度～）
 - ・近世広域行政機関（京都町奉行所等）文書の研究
 - ・資料館紀要による成果報告（京都町奉行所関係資料集四として解説文を掲載）
- 立命館大学歴史都市防災センターと協力したワークショップの開催
 - ・京都市明細図ワークショップ
 - ・占領期京都を考えるワークショップ
- 国民文化祭、京都新聞連載コラムと連動した展覧会等の開催
 - ・古写真と現代写真の対比、古絵図などで京都の変遷をたどる展覧会「目で見る京都の今昔－写真でたどる京都の変遷」の開催
 - ・シンポジウム「写真家が語る京都－歴史地理学者の眼と写真家の眼－」の開催
 - ・京都新聞連載コラムで紹介した古典籍の現物を展示した展覧会「古典に遊び、古典に学ぶ」の開催
 - ・シンポジウム「昔の本に見る笑いとスキャンダル」の開催

3 利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)

(1) 利用者等の状況

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
開館日数	320 日	総合資料館府民講座	371 人
閲覧室等利用者数	85,734 人	古文書入門教室	342 人
図書閲覧室	54,139 人	歴史資料カレッジ	822 人
文書閲覧室	2,380人	古文書相談	7 件
古文書	829 人	展覧会	6,002 人
行政文書	1,148 人	資料の特別撮影・利用	376件
写真資料	28 人	(管理委託現物資料を含む)	1,170点
近代文学資料	6 人	資料の複写(電子式複写・マイク	12,454件
その他	369 人	ロ複写・デジタル画像プリント等)	291,770枚
学習室	29,215人	資料の館外貸与	23件
図書の書庫出納冊数	54,017 冊	(管理委託現物資料を含む)	※1 140 点(冊)
図書資料の相談件数	12,858 件		

※1 図書資料については、冊数で算出

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		平成23年度受払状況							累計 (平成24年3月 31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書資料 (文献課)	図書資料	1,519	2,306	1,136	—	4,961	—	4,961	359,049冊
	その他 ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	2,446点
小 計		1,519	2,306	1,136	—	4,961	—	4,961	361,495冊(点)
文書資料 ^{※2} (歴史資 料課)	古文書 ^{※3}	(5)237	(7)1,052	—	—	(12)1,289	—	(12)1,289	(591)90,963点
	行政文書 ^{※4}	—	—	—	2,253	2,253	—	2,253	79,376点
	写真資料	—	89	—	—	89	—	89	(15)6,859点
	近代文学資料	—	—	—	—	—	—	—	(2)23,788点
	その他 ^{※5}	—	—	—	—	—	—	—	256点
小 計		237	1,141	0	2,253	3,631	—	3,631	201,242点
管理委託 ^{※6} 現物資料	美術工芸資料	—	36	—	—	36	4	32	9,662点
	歴史民俗資料	—	—	—	—	—	3	△3	18,939点
	その他 ^{※7}	—	—	—	—	—	—	—	23,173点
	小 計	—	36	—	—	36	7	29	51,774点
		1,756	3,483	1,136	2,253	8,628	7	8,621	614,511冊(点)

※1 レコード、版木ほか。

※2 文書資料欄の()内の数字は、各資料の固まりを示す文書群等の件数である。

※3 古文書の点数は、平成13年度から、詳細目録により算定した数値に変更した。

※4 行政文書の累計は、所蔵資料を精査した数値であり、昨年度累計と整合が取れていない。

※5 鳥類はく製、京都府旧公印ほか。

※6 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。

※7 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

4 展覧会、府民講座、情報発信の取組

◆展示（展覧会の開催）

本年度、当館展示室において、次の3つの展覧会を開催し、入場者数は延べ6,002人でした。

展 覧 会 名	国民文化祭・京都2011開催記念企画展「目で見る京都の今昔—写真でたどる京都の変遷—」
会 期	平成23年10月15日（土）～11月13日（日）
展 示 の 内 容	総合資料館が所蔵する明治から昭和初期に撮影された古写真32点と、同アングル等で写真家8名により撮影された現在の写真32点を比較展示し、京都の変遷をたどりました。 また、関連展示「古絵図類にみえる京都」では、今年度から一般公開しているデジタルアーカイブ「京の記憶ライブラリ」に収めた江戸時代の京都の古地図や古絵図などの原作品を展示しました。
出 品 点 数	109点

関連行事	<p>○トークセッション「写真が語る京都—歴史地理学者の眼と写真家の眼」 平成23年10月21日(金) 午後2時～4時 人間文化研究機構長 金田章裕氏による講演のあと、本展出展者の写真家とのトークセッション</p> <p>○講演会「GLOBALBASEプロジェクトとは—江戸期の地図学者 森幸安の地図から21世紀の地図へ—」 平成23年11月2日(水) 午後2時～4時 講師：国際日本文化研究センター 准教授 森 洋久氏</p> <p>○列品解説 平成23年10月20日(木) 午後2時～3時 平成23年10月27日(木) 午後2時～3時</p>
入場者数	3,250人(開催日数28日間、1日平均116人)

展覧会名	「古典に学び、古典に遊ぶ」
会期	平成23年11月26日(土)～12月18日(日)
展示の内容	総合資料館、京都府立大学及び京都新聞社が連携して掲載中の京都新聞のコラム「遊びをせんとや」で紹介した古典籍の現物等を中心に展示しました。
出品点数	55点
関連行事	<p>○シンポジウム「昔の本に見る笑いとスキャンダル」 平成23年12月4日(日) 午後1時～4時 講師：京都府立大学文学部教員</p> <p>○列品解説 平成23年12月1日(木) 午後2時～3時 平成23年12月8日(木) 午後2時～3時</p>
入場者数	1,174人(開催日数22日間、1日平均54人)

展覧会名	総合資料館収蔵品展
会期	平成24年2月25日(土)～3月25日(日)
展示の内容	平成24年3月11日に開催された京都マラソンにちなみ、マラソンコース沿いにある嵐山、金閣寺、上賀茂神社等の寺社仏閣や名所に関わる資料を展示しました。また、3月11日で東日本大震災から1年となることを受けて、資料館の所蔵する京都府行政文書から京都の災害についての資料を紹介しました。
出品点数	92点
関連行事	<p>○列品解説 平成24年2月28日(火) 午後2時～3時 平成24年3月22日(木) 午後2時～3時</p>
入場者数	1,578人(開催日数28日間、1日平均56人)

◆講座等

(1) 総合資料館府民講座

当館では、平成14年度から外部講師や当館職員により、歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等のテーマで「総合資料館府民講座」を開催しています。本年度は第73回から第78回まで5回開催(「歴史資料カレッジ」として開催した第74回を除く)し、受講者数は延べ371人でした。

「総合資料館府民講座」の開催状況

回	年月日	演題	講師	受講者数
73	23年 8月18日(木)	寺子屋講座「飲んで！学んで！宇治茶」	(社)京都府茶業会議所 職員、当館職員	30人
75	23年 10月1日(土)	寺子屋講座「京都の歴史を歩こう！北山魅力発見！探検ウォーク2011」	上杉和央氏(京都府立大学准教授)、同大学学生	28人
76	23年 10月21日(金)	*国民文化祭・京都2011開催記念企画展「目で見る京都の今昔」関連事業 トークセッション「写真が語る京都-歴史地理学者の眼と写真家の眼」	金田章裕氏(人間文化研究機構長) 写真家井上隆雄氏ほか計7名	101人
77	23年 11月2日(水)	*国民文化祭・京都2011開催記念企画展「目で見る京都の今昔」関連事業 講演会「GLOBALBASEプロジェクトとは-江戸期の地図学者森幸安の地図から21世紀の地図へ-」	森 洋久氏(国際日本文化研究センター准教授)	82人
78	23年 12月4日(日)	*企画展「古典に学び、古典に遊ぶ」関連事業 シンポジウム「昔の本に見る笑いとスキャンダル」	京都府立大学文学部教員	130人
合 計				371人

(2) 古文書入門教室・歴史資料カレッジ等

平成22年度に引き続き、本年度も古文書解読に必要な基礎知識を解説する「古文書入門教室」と、館蔵資料等を活用した講義を行う「歴史資料カレッジ」を開催しました。

なお、本年度は「古文書入門教室」の会場を従来の当館から京都府立大学・学生会館にして定員を倍の120人としました。「歴史資料カレッジ」は従来どおり京都府立大学本館・合同講義室棟3階・第3講義室を会場に定員200人で行いました。

「平成23年度古文書入門教室」の開催状況

日程	講師	演題	受講者数
23年8月23日(火)	山田 洋一 (当館職員)	近世後期の古文書読解	120人
8月24日(水)			116人
8月25日(木)	土橋 誠 (当館職員)	仮名の歴史	106人
合 計			342人

「平成23年度歴史資料カレッジ」の開催状況

	日程	講師	演題	受講者数
前期	23年 9月1日(木)	井口 和起 (当館顧問)	「昭和期の与謝野晶子 —天眠文庫を素材に—」	114人
	9月15日(木)	辻 真澄 (当館職員)	「記録の中の“新選組”」	155人
	9月29日(木)	上杉 和央氏 (京都府立大学准教授)	「描かれた京都 —江戸時代の地図から—」	189人

後 期	24年 3月1日(木)	島津 良子氏 (奈良女子大学非常勤 講師)	「武士身分と農民身分の間 —旗本天野氏上方代官森島家 の文書から③」	157人
	3月8日(木)	福島 幸宏 (当館職員)	「大規模災害と京都府行政文書」	91人
	3月15日(木)	岡本 隆明 (当館職員)	「東寺百合文書 その利用のい ま・むかし」	116人
合 計				822人

「平成23年度出張講座」の実施状況

日程	出張先	講師	演題	受講者数
23年 7月28日(木)	京丹後市 文化財セミナー	山田 洋一 (当館職員)	久美浜代官所と丹後・ 但馬・美作	110人
合 計				110人

(3) 古文書相談

古文書相談は、比較的軽易なものが多く、すべて相談者の意向により随時郵送により回答しました。相談件数は、合計で5件でした。

◆編集・刊行

平成23年度に編集・刊行した刊行物は次のとおりです。

①「資料館紀要」第40号 A5版 85頁

- ・総合資料館・府立大学共同研究事業 京都町奉行所関係資料集 四
古久保家文書 「起源」

②「東寺百合文書 九 ト函二・チ函一」京都府立総合資料館編A5判 446頁

③「総合資料館だより」No.167～170

○ No.167 (平23.4.1) 8頁

- ・新資料館に向けて
- ・文献課の窓から「資料館で植物採集—旧分類の図書 又々—」
- ・歴史資料課の窓から「京都市域の景観変化—「京都市明細図」を読み解く—」
- ・最近の収集資料から(平成22年12月～23年2月)
- ・インターンシップ受入報告・友の会事務局から、日誌、利用案内 他

○ No.168 (平23.7.1) 8頁

- ・「京の記憶ライブラリ」
- ・文献課の窓から「まゆまろと調べる繭の今昔」
- ・歴史資料課の窓から「東寺門前の風景(5)—巷所、道路が耕地に—」
- ・最近の収集資料から(平成23年3月～5月)
- ・歴史資料カレッジ(前期)のご案内
- ・古文書入門教室のご案内・友の会事務局から、利用案内 他

○ No.169 (平23.10.1) 10頁

- ・国民文化祭・京都2011開催記念企画展「目で見る京都の今昔」

- ・ 文献課の窓から「名所巡りの楽しみ方 ―書籍でもデジタルでもお好みで―」
 - ・ 大規模災害と歴史資料―東日本大震災をうけて―
 - ・ 最近の収集資料から（平成23年6月～8月）
 - ・ 友の会事務局から、日誌、利用案内 他
- No.170（平24. 1. 1） 12頁
- ・ 第四回内国勸業博覧会
 - ・ 知事年頭あいさつ
 - ・ 文献課の窓から「読書で巡る戦前の近畿―失われた情景を求めて―」
 - ・ 歴史資料課の窓から「大型資料デジタル化と明治初期の社寺政策―神社一覧・寺院本末一覧のデジタル化―」
 - ・ 最近の収集資料から（平成23年9月～11月）
 - ・ 東寺百合文書第9巻を刊行
 - ・ 平成23年度歴史資料カレッジ（後期）のご案内 ・ 日誌、友の会事務局から 利用案内 他

◆ホームページ

平成14年7月19日に開設した当館のホームページでは、休館日・所在地等の利用案内、講座・展覧会等の各種行事案内、館蔵資料の概要等を紹介しています。

- 平成16年4月1日からは、デジタルデータベース「京都北山アーカイブズ」のサンプル版を公開し、平成23年7月1日からは新たにデジタル化した画像約10,000点を「京の記憶ライブラリ」として公開しました。
 - 所蔵資料をホームページ上において展覧会形式で紹介する「デジタル展覧会」には、新たに「行政文書にみる さまざま地図資料」を掲載しました。
 - 資料館が所蔵している主な京都府内各市町村史誌類の目次を収録した『京都府内市町村史目次集』を掲載するとともに、総合資料館が所蔵する行政文書のデジタル画像の一部を『行政文書アーカイブズ』として掲載しています。
 - レファレンス事例については、主な事例を国立国会図書館のレファレンス協同データベースに順次登録を行っていますが、その事例へのアクセス件数が年42,000件を突破しました。
- なお、平成18年10月5日に創刊した「総合資料館メールマガジン」は、隔週水曜日に発行しています。配信状況は下記のとおりです。

メールマガジン配信状況

号数	配信日	部数	号数	配信日	部数	号数	配信日	部数
第118号	4月6日	610	第127号	8月10日	604	第136号	12月14日	605
第119号	4月20日	613	第128号	8月24日	605	第137号	12月28日	607
第120号	5月14日	611	第129号	9月7日	608	第138号	1月11日	605
第121号	5月18日	608	第130号	9月21日	608	第139号	1月25日	605
第122号	6月1日	605	第131号	10月5日	606	第140号	2月8日	605
第123号	6月15日	606	第132号	10月19日	608	第141号	2月22日	605
第124号	6月29日	606	第133号	11月2日	607	第142号	3月7日	605
第125号	7月13日	606	第134号	11月16日	608	第143号	3月21日	606
第126号	7月28日	606	第135号	11月30日	606			

◆資料館友の会の活動

当館の事業に協賛する方によって、友の会が組織されており、本年度の会員数は247人でした。

主な活動内容は以下のとおりです。

① 現地講座

6月8日(水)に「泉屋博古館」(京都市東山区)において実施し、66人の参加がありました。

② 見学会

11月15日(火)に滋賀県(信楽)のミホミュージアム及び滋賀県立陶芸の森において実施し、60人の参加がありました。

③ 総合資料館府民講座

館と共催で、歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等をテーマとした「総合資料館府民講座」を5回開催しました。

④ 「総合資料館だより」の発行・配付

館と共同でN0.167からN0.170を発行するとともに、会員に送付しました。

5 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として日本で初めて重要文化財に指定された「京都府庁文書」(京都府立庁前年(慶応3年)から昭和21年度までの15,407点)について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷の修理等を行いました。

今年度は敗戦直前の建物疎開関係資料を中心に37点の修理を行ったほか、経常的な手当を72点に対して行いました。また、文化庁が主催する「近代行政文書の保存活用にかかる意見聴取」に職員を派遣し、行政文書の保存活用のあり方について、意見交換を行いました。

6 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

・図書資料(文献課)

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料

・文書資料(歴史資料課)

・管理委託現物資料

(1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分	購入(冊)	寄贈(冊)	取得等(冊)	計(冊)
京都資料	617	988	354	1,959
人文資料	577	834	53	1,464
官庁資料	京都関係	102	316	640
	国・他府県	223	168	89
合計	1,519	2,306	1,136	4,961

そのうちの主な資料は、次のとおりです。

ア 京都資料

書名	著編者等	備考
<p>京都読書さんぽ 醍醐寺の歴史と文化財 あなたの知らない京都の歴史 常識のいつわり 十九世紀民衆の歴史意識・由緒と天皇 (歴史科学叢書) 京都三大学 京大・同志社・立命館 東大・早慶への対抗 梅小路蒸気機関車館 あの日に帰りたい懐かしき蒸気機 関車たち 京阪電気鉄道 (日本の私鉄) 西本願寺荘厳の美 (家庭画報特選) 国宝蟹満寺釈迦如来坐像 古代大型金銅仏を読み解く イエローカードはぼくらの旗印</p>	<p>アリカ編著 永村真編 横山卓雄著 吉岡拓著 橋木俊詔著 京都新聞出版センター編 広岡友紀著 井上博道撮影 西本願寺協力 三船温尚・奥健夫編 沢田俊子著</p>	<p>購入</p>
<p>賀茂神主補任史 佛光寺の歴史と文化 昔むかし…。 京都府の遺跡をよむ 京郊圏の中世社会 京都古地図めぐり 古地図でながめる京都の歴史 ふるさと紀行 1 ほのぼの京丹波 印内村物語 風雨強けれど光り輝く 検証!京都の民主教育1978-2010 洛陽定時制記念誌 働き学んだ青春 京都女子学園百年史 京大地球物理学研究の百年 財団法人国際高等研究所 フェロー研究会集録 神前の薬草 京都の治水と昭和の大水害 京都産業学を創る 三百年企業美濃吉と京都商法の教え 宝物総覧 松尾大社の神影 おなじ阿呆なら踊って逝きます 種田山頭火ちぎりえ いろはかるた</p>	<p>藤木正直・須磨千穎著 大遠忌記念出版『佛光寺の歴史と文化』編集委員会編 京都府埋蔵文化財調査研究センター [編] 藤木久志編 伊東宗裕著 長宗繁一編集 藤田克己著 京都教育センター編著 洛陽定時制記念誌編集委員会編 京都女子学園百年史編纂委員会[編] 竹本修三・廣田勇編 神前ふるさとを守る会編 植村善博著 龍谷大学大学院経営学研究科付置機 関京都産業学センター編 佐竹力総著 浄土宗大本山くろ谷金戒光明寺[編] 伊東史朗編 川井波佳著・編 島本貴子[作]</p>	<p>寄贈</p>
<p>伏見稲荷大社御鎮座千三百年史 区誌甲坂 槇村正直 その長州藩時代 歩いて観よう京都丹波 美の風景(うるわしのふうけい) 天橋立と名所絵屏風の 世界 春季特別展 京都の町家と火消衆 その働き、鬼神のごとし 先生、わかってな 子どもの理解と支援のために ハン ドブック 丹波の祭礼と風流 第27回特別展 京都まちとみどり写真コンクール入選作品集 第26回 (平成22年度)</p>	<p>伏見稲荷大社御鎮座千三百年史調査 執筆委員会編 甲坂区区誌編纂委員会編 布引敏雄著 京都府南丹広域振興局[編] 京都府立丹後郷土資料館編 丸山俊明著 京都府総合教育センター[編] 亀岡市文化資料館編 京都府都市計画協会・京都市都市緑 化協会編</p>	<p>取得</p>

錦の百年 京都のモダンデザインと近代の縞・緋	錦盛会創立100年記念誌委員会編 京都工芸繊維大学美術工芸資料館[編]
---------------------------	--

イ 人文資料

区分	書名	著編者等	備考
参考図書	出版年鑑 2011-1, 2 図書館年鑑 2011 大学所蔵貴重書解題集 (復刻) 江戸時代初期出版年表 天正19年～明暦4年 必携古典籍・古文書料紙事典 古語大鑑 第1巻 古典基礎語辞典 図書館建築発展史	出版年鑑編集部編 日本図書館協会図書館年鑑編集委員会編 ゆまに書房 岡雅彦・市古夏生編 穴倉佐敏編著 築島裕編集委員会代表 大野晋編 西川馨著	購入
	皇室制度史料 儀制誕生4 図書館に関する基礎資料 平成22年度 国立国会図書館年報 平成22年度 公共図書館における障害者サービスに関する調査研究 つながる図書館・博物館・文書館 デジタル化時代の知の基盤づくりへ	宮内庁書陵部編纂 文部科学省国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター[編] 国立国会図書館総務部編 シード・プランニング[編] 石川徹也・根本彰編	寄贈
	日本の図書館 統計と名簿 2010 公立図書館における協力貸出・相互貸借と他機関との連携に関する実態調査報告書 2010年度 資料保存セミナー資料集	日本図書館協会図書館調査事業委員会編 全国公共図書館協議会編 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会調査・研究委員会編	取得
宗教	新編神社の古代史 和辻哲郎仏教哲学読本 全2巻 飛鳥・白鳳仏教史 東大寺二月堂 修二会の伝統とその思想 論集 修験道の室町文化 法然伝承と民間寺院の研究 真宗教団の地域と歴史 隠元禅師と黄檗文化 身延山信仰の形成と伝播	岡田精司著 和辻哲郎著 田村圓澄著 GBS実行委員会編 川崎剛志編 平祐史著 草野顕之著 木村得玄著 望月真澄著	購入
	神社本廳六十五年誌 初瀬にますは与喜の神垣 與喜天満神社の秘宝と神像 西宮神社御社用日記 第1巻 園城寺文書 第3～7巻 法然上人研究論文集 八百年遠忌記念 増上寺史料集 第1～4巻、第8、9巻、附巻、別巻 親鸞展 生涯とゆかりの名宝	神社本庁総合研究所編 奈良国立博物館編 西宮神社文化研究所編 園城寺・園城寺文書編纂委員会編 福原隆善編 増上寺史料編纂所編 真宗教団連合・朝日新聞社編	寄贈
歴史・地誌	歴史資料の保存と地方史研究 細川家文書 絵図・地図・指図編1 (永青文庫叢書) 日本の食文化史年表 古代・中世遺跡と歴史地理学	地方史研究協議会編 熊本大学文学部附属永青文庫研究センター編 江原絢子編 金田章裕著	購入

	<p>日本古代典籍史料の研究 日本古代の外交儀礼と渤海 中世鷹書の文化伝承 東寺文書と中世の諸相 日本中世土師器の研究 中世の巨大地震 江戸時代の名産品と商標 大塩平八郎の総合研究 藤堂藩山崎戦争始末 江戸知識人と地図</p>	<p>鹿内浩胤著 浜田久美子著 二本松泰子著 東寺文書研究会編 中井淳史著 矢田俊文著 江戸遺跡研究会編 大塩事件研究会編 伊賀古文献刊行会編 上杉和央著</p>	
	<p>考古学は何を語れるか 天武・持統朝の寺院造営 シンポジウム報告書 東日本・西日本 仁明朝史の研究 承和転換期とその周辺 平家一門の栄華と瀬戸内海 海原を駆けぬけた清盛の夢 武門の絆 徳川将軍家と井伊家 近世足利学校の歴史 侯爵家のアルバム 孝允から幸一にいたる木戸家写真資料 児玉源太郎と近代国家への歩み展 日本の進路を託された男 琵琶湖と地域文化</p> <p>梅棹忠夫 知的先覚者の軌跡 UMESAO Tadao: an explorer for the future 水都大阪と淀川 新淀川100年</p>	<p>松藤和人編著 帝塚山大学考古学研究所編</p> <p>角田文衛監修・古代学協会編 広島県立歴史博物館編 彦根城博物館編 倉澤昭壽著・足利市編 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館編 周南市美術博物館編</p> <p>林博通先生退任記念論集刊行会編 特別展「ウメサオタダオ展」実行委員会編 大阪歴史博物館編</p>	寄贈
	<p>朝鮮通信使の足跡 日朝関係史論 東寺百合文書 9 鎌倉幕府の検断と国制 鎌倉遺文 補遺編・東寺文書第1巻 応仁の乱と在地社会 桜井静と木内重四郎 自由民権家・衆議院議員 京都府知事・貴族院議員</p>	<p>仲尾宏著 京都府立総合資料館編 西田友広著 鎌倉遺文研究会編 酒井紀美著 芝山町立芝山古墳・はにわ博物館編</p>	取得
美術・芸能・写真	<p>本阿弥光悦 人と芸術 岡本太郎爆発大全 二万年の日本絵画史 大坂画壇はなぜ忘れられたのか 応挙・呉春・蘆雪 円山・四条派の画家たち 小村雪岱作品集 日本の図像琳派 草間彌生全版画 1979-2011 リュリシーズ 鈴木龍一郎写真集 雁金屋御画帳の研究 印籠名品集 清水三年坂美術館コレクション 幕末・明治の鐔・刀装金工 日本の伝統色 マッチラベルパラダイム 燐票商標様式美 近世芸能の胎動</p>	<p>増田孝著 岡本太郎著 宮島新一著 中谷伸生著 山川武著 小村雪岱著 [ピエ・ブックス] 草間彌生著 鈴木龍一郎著 塚本瑞代著 村田理如著 [マリア書房] [パイインターナショナル] 加藤豊編 山路興造著</p>	購入

茶譜 本文篇・図版篇	谷晃校訂	
法然と親鸞ゆかりの名宝 不滅のシンボル 鳳凰と獅子 装演史 酒井抱一と江戸琳派の全貌	東京国立博物館編 サントリー美術館編 国宝修理装演師連盟編 酒井抱一展開催実行委員会企 画・監修	寄 贈
ゴッホ展 没後120年 芸術写真の精華 *中央アジア古代仏堂壁画 *法隆寺金堂壁画 ガラス乾板から甦った白鳳 *法隆寺金堂壁画選 原寸大コロタイプ印刷による *源氏絵集成 研究篇・図版篇 *在外日本重要絵巻集成 研究編・影印編 *狩野一信五百羅漢図 *狩野一信五百羅漢図 作品解説 *田能村竹田基本画譜 図版篇・解説篇 *サクラ図譜 *二〇〇〇年紀和紙總鑑 日本の心 1~12 *叢書・近代日本のデザイン 10~17	ゴッホ画 東京都写真美術館編 オーレル・スタイン発掘 「法隆寺金堂壁画」刊行会編 「法隆寺金堂壁画」刊行会編 佐野みどり監修 辻英子編著 狩野一信画 安村敏信監修 田能村竹田画 川崎哲也画 二〇〇〇年紀和紙委員会編 森仁史監修	

* 印の資料11点は、財団法人京都高等学校から御寄贈いただきました。

□ 吉田文庫

吉田文庫は、京都大学名誉教授・元京都府京都文化博物館長・故吉田光邦博士(大正10年生、平成3年没)が蒐集された総合的なコレクションです。平成3年度に御遺族の吉田茂博氏から寄贈を受けました。

その後も、吉田文庫に関係のある個人・団体から引き続き送付いただいています。

ウ 官庁資料

区分	書名	著編者等	備考
京都関係	京都府立淇陽学校一覧表 昭和10年6月 京都府與謝郡宮津町現勢一覧 昭和11年(10年度現在) 都市計畫防火地区指定参考書 中京郵便局新築工事竣工報告会資料	京都府立淇陽学校[編] 宮津町役場[編] 都市計畫京都地方委員会[編] 郵政大臣官房建築部[編]	購 入
	京都府町村会90年史 京都市地域防災計画 震災対策編 新「京(みやこ)・食育推進プラン」 宇治市第2次防犯推進計画 京田辺市児童虐待対応マニュアル 精華町男女共同参画計画(後期施策) 一人ひとりがく らしやすいまち 京丹波町過疎地域自立促進市町村計画 伊根町揺れやすさマップ 伊根町地域の危険度マップ	京都府町村会編 京都市消防局防災危機管理室編 京都市保健福祉局保健衛生推進 室保健医療課編 宇治市総務部総務課[編] 京田辺市保健福祉部こども福祉 課編 精華町民生部人権啓発課編	寄 贈
	京都府知事選挙選挙の記録 平成22年4月11日執行	京都府選挙管理委員会[編]	取 得
	明日の京都 だれもがしあわせを実感できる希望の京	京都府政策企画部編	

	都をめざして 交通統計 平成22年(2010年) 介護保険サービス利用者アンケート調査結果の概要 第8回 原子力防災のしおり 京都府教育振興プラン つながり、創る、京の知恵 農林水産京カプラン 第26回国民文化祭・京都2011公式記録 第26回国民文化祭・京都2011記念歌合唱譜集	京都府警察本部交通企画課編 京都府[編] 京都府府民生活部危機管理・防災課編 京都府教育委員会[編] 京都府農林水産部農政課[編] 第26回国民文化祭京都府実行委員会編 第26回国民文化祭京都府実行委員会[編]	
国	日本外交文書 日中戦争 第1~4冊 日本の防衛 防衛白書 平成23年版 県民経済計算年報 平成23年版 賃金センサス 平成23年版 第1~5巻 都市計画年報 平成22年 特定サービス産業実態調査報告書 平成21年	外務省編 防衛省編 内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部編 厚生労働省統計情報部編 都市計画協会編 経済産業省経済産業政策局調査統計部編	購入
	全国知事・市町村長ファイル 2011-2012 住民基本台帳人口要覧 平成23年版 国民生活時間調査 データブック 2010 現代日本の家族変動 第4回全国家庭動向調査 食品ロス統計調査報告 平成21年度	地方行財政調査会編 国土地理協会編 NHK放送文化研究所編 国立社会保障・人口問題研究所編 農林水産省大臣官房統計部編	寄贈
	日本の住宅・土地 住宅・土地統計調査の解説 平成20年	総務省統計局編	取得

エ 住民生活に光をそそぐ交付金にて購入した資料

地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)を活用し、平成22~23年度に567冊(点)の資料を購入しました。そのうちの主な資料は、以下のとおりです。

区分	書名	著編者等	発行所	発行年等
京都資料	[京大絵図] 帝國京都市街名所新圖 京羽二重織留 6巻 明治七年改刻京都絵圖 附り上下 京区分名録 御蔵入城州愛宕郡四條川原西組東 組御蔵入同郡五条川原絵圖 京都細繪圖 淀川兩岸一覽 4巻	片岡賢三編輯 孤松子[著] 福富正水校正銅刻	風月庄左衛門 村上勤兵衛	[江戸中期] 明治26.3 元禄2(1689) 明治7.5
	丹後與謝海天橋立之図 花のおきて 洛医人名録 賀茂川筋・桂川筋・宇治川筋・木 津川筋共絵圖	若森緑之輔著 暁晴翁編著 松川 半山畫圖 [貝原益軒著] 碓井玉輪[著] 中村東平著	須磨勤兵衛 須原屋茂兵衛ほか [碓井小三郎]	[江戸中期] 明治12.3 万延1(1860)年 [江戸中期] 明治27(1894)年 文久1(1861) [江戸中期頃]

	<p>[大阪より伏見まで淀川航行計画図] 其1-3 [木津川上流より淀川河口まで川筋絵図] [京都市西洞院川改良工事写真][和菓子図案集] 工商技術都の魁 2巻 京都日日新聞 マイクロフィルム版 新板平安城并洛外之圖 山城四季物語 6巻</p> <p>出来齋京土産 7巻 山城名所紀行 15巻 新板平安城東西南北町并洛外之圖 山城名所記 12巻</p>	<p>石田有年編輯</p> <p>[坂内直頼著]</p> <p>[浅井了以著]</p> <p>[山本泰順編]</p>	<p>石田才次郎</p> <p>本間長兵衛・大角八郎兵衛 山口市郎兵衛 山本長兵衛 [伏見屋] 上村次郎右衛門</p>	<p>[明治7]</p> <p>[江戸中期]</p> <p>[1903-1904] [192-] 明治10. 10 1920-1942 延宝6年(1678) 延宝2年(1674) 延宝6年(1678) 正徳4年(1714) 寛文2(1662) 寛文4(1664)</p>
人文資料	<p>重宝記資料集成 第1~45巻、別巻 親鸞聖人眞蹟集成 第1巻~第10巻 故実叢書(改訂増補) 1巻~39巻、別巻 江戸幕府日記 明暦年禄第1巻~第2巻、万治年禄第1巻、寛文年禄第1巻~第6巻、宝永年禄第1巻~第5巻、文化年禄第1巻~第6巻</p> <p>天皇皇族実録(神武天皇実録~光仁天皇実録) 天皇皇族実録(桓武天皇実録~安徳天皇実録) 天皇皇族実録(後鳥羽天皇実録1~後奈良天皇実録3) 天皇皇族実録(正親町天皇実録1~孝明天皇実録2) 江戸時代来日外国人人名辞典 飛脚問屋井野口屋記録 第1巻~第4巻 書陵部紀要所収陵墓関係論文集 [正]、続、3~6 帝国大学出身人名辞典 復刻 第1巻~第4巻 華族畫報 上・下 図説日本城郭大事典 1~3 写真記録日本の街道(東海道、瀬戸内、若狭・北陸路、紀伊・熊野路、大和路、吉備路・山陽道、山陰路) 五畿内名所圖會</p>	<p>長友千代治編 親鸞[著] 赤松俊秀編 故実叢書編集部</p> <p>藤井讓治・吉岡眞之 監修・解説 藤井讓治・吉岡眞之 監修・解説 藤井讓治・吉岡眞之 監修・解説 藤井讓治・吉岡眞之 監修・解説 岩下哲典編 渡辺忠司・徳永 光 俊共編 宮内庁書陵部陵墓 課編</p> <p>杉謙二編 平井聖監修 写真記録刊行会編</p> <p>秋里籬鳶[著]</p>	<p>臨川書店 法藏館 明治図書出版</p> <p>野上出版</p> <p>ゆまに書房 ゆまに書房 ゆまに書房 ゆまに書房 東京堂出版 思文閣出版 学生社 日本図書センター 吉川弘文館 日本図書センター 日本ブックエース</p> <p>小川多左衛門ほか</p>	<p>2004 2005~2007 1993</p> <p>1985~1994</p> <p>2008 2007~2008 2008~2010 2005~2006 2011 2001~2004 1980~2010 2003 2011 2000 2011</p> <p>享和2(1802)</p>
官庁資料	<p>国民防空</p> <p>少年就職指導参考 職業指導資料 第1輯</p>	<p>京都市企畫部防護 課編輯 京都府学務部職業 課[編]</p>	<p>京都市役所</p> <p>京都府学務部職業 課</p>	<p>昭和14年</p> <p>昭和13年</p>

事業報告 昭和9、11～13年度	京都府教育會[編]	京都府教育會	[昭和10、12～14年]
京都教育會雑誌 61号～76号	京都教育會事務所[編]	京都教育會事務所	明治24～25年
京都市電氣事業二十五周年記念講演	京都市電氣局[編]	京都市電氣局	昭和12年
京都市染織試験場要覧	京都市染織試験場[編]	京都市染織試験場	昭和9年

オ 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総数	継続購入数
京 都 関 係	2,898タイトル	9タイトル
一般(歴史・美術・官庁等)	2,792	100
京 都 官 庁 関 係	756	—
計	6,446	109

(2) 文書資料

ア 古文書

(7) 収集

本年度、収集した古文書は、次のとおりです。

区分	文書群名 (資料名)	形態	目録 点数	資料概要 (地域)	資料概要 (年代)	資料概要 (内容/特記)	備考
近世・近代	蛸薬師町文書	古文書	13	京都市中京区	文化9年(1812)～安政4年(1857)	室町通二条下ル蛸薬師町の文書。鴨川筋渡の一件、四条大橋の新造の一件、祇園会神輿の祭礼の記録など。	購入
	遠下村文書	古文書	98	丹後国竹野郡遠下村(旧丹後町上宇川現京丹後市)	万治3年(1660)～大正8年(1918)	村の庄屋・総代を務めた三宅五兵衛家に残った村関係の文書。延宝7年(1679)の検地帳ほか儉約等を定めた仕法書、証書類、近代役場への進達書など	寄贈
	石田孝喜氏旧蔵資料	古文書	23	京都市・亀岡市	寛文10年(1661)～明治22年(1889)	高瀬川の水運に関する資料、薪炭仲ヶ間・材木仲ヶ間の資料、高瀬川沿いにある難波町の記録など。	寄贈
	旧丹波町関係古文書	古文書	657	京丹波町	慶安元年(1648)～昭和10年(1935)	旗本武田家領村々の大庄屋役も務めた高屋村寺井家の文書(593点)坪井村文書(7点)八田下村古田家文書(55点)その他(2点)。田畑名寄帳・人別改帳ほか。	寄贈
	石田善明氏旧蔵京都関係文書	古文書	107	京都市	永禄3年(1560)～明治24年(1891)	北野社日代荒木田家(春林坊)に伝来した北野社関係資料(25点)近衛家の近習等を勤めた滝家に伝来した資料(37点)夕顔町(下京区堺町通高辻下ル)の布令書留・御達写など(24点)三条実万の書状案ほか(21点)。	寄贈

山科音羽村関係文書	古文書	57	京都市山科区	享保元年(1716) ～安政2年(1855)	京都市山科区音羽村の文書を中心とした資料。長福寺替地一件、山科郷土由緒書、音羽村年貢免状・皆済目録など。	寄贈
山添家文書	古文書	25	京都市	宝暦8年(1758) ～昭和5年(1930)	京都市中京区三条寺町西入ル弁慶石町の山添家の資料。真宗の教えに関わる説話集や法話など。ほかに御幸町通御池上ル亀屋町の宗門人別改帳。	寄贈
荒木田家文書	古文書	95	京都市	慶長元年(1596) ～明治34年(1901)	北野社日代荒木田家の文書。慶長元年から幕末期までの補任状および令旨、幕末頃と思われる目代心得条々和歌詠草など。	購入
西八条家旧蔵文書・甲	古文書	121	京都市南区八条町	文禄3年(1594) ～大正期	大通寺実法院の住持で近代に六孫王社の神官を勤めた西八条家に伝来した資料。大通寺周辺の西八条村の検地帳、諸事記録、修復のための勸化や幕府への請願の一件など。	購入
西八条家旧蔵文書・乙	古文書	7	京都市南区八条町	文久元年(1861) ～元治元年(1864)	西八条家に伝来した資料。文久年間、六孫王社修復のため江戸の寺社奉行に面会した時の江戸滞留の記録など。	購入
西八条家旧蔵文書・丙	古文書	1	京都市南区八条町	享保10年(1725) ～19年	西八条家に伝来した資料。京都所司代牧野河内守の寄附により作られた六孫王社御廟拜所にかかわる記録。	購入
堀内村吉川家文書	古文書	85	京都市伏見区／堀内村	元禄12年(1699) ～昭和24年	堀内村の旧家吉川家で保管されていた文書。吉川家に関わる証書類・賞状のほか、伏見奉行からの年貢割付状など旧堀内村に関わる村文書が含まれる。	寄贈

文書複製資料の収集・所蔵状況

資料区分	平成23年度収集			累計(平成24年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古文書	-	-	-	556	1,388	2,205
行政文書	-	-	-	10	84	1,043
合計	-	-	-	566	1,472	3,248

(イ) 整理・保存

a 古文書の整理

本年度、整理した古文書は、次のとおりです。

区分	文書群名（資料名）	形態	目録点数	備考
近世・近代	蛸薬師町文書	古文書	13	終了・公開
	遠下村文書	古文書	98	終了・公開
	石田孝喜氏旧蔵資料	古文書	23	終了・公開
	旧丹波町関係古文書	古文書	657	終了・公開
	石田善明氏旧蔵京都関係文書	古文書	107	終了・公開
	山科音羽村関係文書	古文書	57	終了・公開
	山添家文書	古文書	25	終了・公開
	荒木田家文書	古文書	95	終了・公開
	西八条家旧蔵文書・甲	古文書	121	終了・公開
	西八条家旧蔵文書・乙	古文書	7	終了・公開
	西八条家旧蔵文書・丙	古文書	1	終了・公開
	堀内村吉川家文書	古文書	85	終了・公開
	上野家文書	古文書		整理中
	相楽郡小寺村文書	古文書		整理中
	上田氏旧蔵文書	古文書		整理中
	二ノ瀬村杉原家文書	古文書		整理中
藤野大吉家旧蔵資料	古文書		整理中	

b 古文書の燻蒸

本年度は実施していません。

イ 写真資料

(7) 収集

本年度、収集した写真資料は、次のとおりです。

資料名	点数	地域	年代	資料概要	受入経過
井上氏 旧蔵写真	2	舞鶴市	明治36年	私立余部博愛病院の落成後5 日目の写真。	寄贈

また、本年度は企画展として「目でみる京都の今昔」を開催し、出品いただきました先生方から、下記のとおり、御寄贈を賜りました。

種類	点数	備考
展示パネル	32	古写真と比較
同上	8	遺したい風景
小計	40	

種類	点数	作者	タイトル
保存分 紙焼き (半切)	6	木村 尚達氏	観月橋、四条大橋、島津製作所木屋町本店、京都駅（二代目）、渉成園
	8	神崎 順一氏	加佐郡桃ヶ島付近由良海岸道路、船井郡立高等女学校、京都府水産講習所、舞鶴鎮守府、賀茂川からみた東山
	5	川村 趙夫氏	塔ノ島、清水寺、城南宮、島原、相国寺
	5	小林 賢司氏	広沢池、松尾橋、天橋立、万亭、丹後伊根船屋
	5	木村 晃造氏	五条板橋、新京極、錦小路魚市場、二条城、高瀬川
	8	北奥 耕一郎氏	渡月橋、南禅寺界限、八坂法観寺、西陣糸屋町、京都駅屋上から南方を眺む
	5	井上 隆雄氏	下鴨神社、上賀茂神社、熊野神社、平安神宮大鳥居（岡崎界限）、今出川の橋上から鴨川周辺を北向きに眺望する。
	5	佐藤 博一氏	仁和寺、鴨川床、京都大学、インクライン、木津流れ橋
小計	47		

(1) 整理・保存

a 写真資料の整理

本年度、整理した写真資料は、次のとおりです。

文書群名（資料名）	点数	備考
井上氏旧蔵写真	2	終了／公開

b 一時預り 近藤豊撮影写真資料 約10万カット

- ① 内訳 ガラス乾板 キャビネ版 約 700枚
ブローニーフィルム6×6 約61,700枚
35mmモノクロネガ 約30,000枚
35mmカラーポジ 約 3,000枚

- ② 内容 (1) 京都府内を中心とした歴史的建造物及び細部意匠
(2) 他府県の歴史的建造物及び細部意匠
(3) 韓国の歴史的建造物及び細部意匠

ウ 行政文書

(7) 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は、以下のとおり2,253点の行政文書を収集しました。

永年保存文書の移管	
完 結 年 度	点 数
昭和60年度	1,973
過年度分(昭和37～59年度完結)	141
合 計	2,114

有期限保存文書の引渡し	
完 結 年 度	点 数
昭和5年～平成17年度	139

(イ) 整理

京都府庁文書(永年)については、簿冊目録(紙データ及び電子データ)を作成しています。また、簿冊に綴じられた件名目録も順次作成しています。

京都府庁文書(有期)については、完結年度順に簿冊目録を作成しています。

本年度、作成した目録は、次のとおりです。

文書群名	目録の種類	完結年度	点数
京都府庁文書(永年)	簿冊目録	昭和60年度	1,973
京都府庁文書(永年)	簿冊目録	昭和39～59年度	141
京都府庁文書(有期)	簿冊目録	昭和25～昭和37年度	338

(ウ) 保存

a 資料の保護

いたみの激しい文書や酸性劣化のおそれのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料情報の安全な保存に努めました。

資 料 名 等	原本の 点 数	複製物の概要
久世神社本殿修理一件(昭2-46)	1	データ・A3版紙焼き
許波多神社本殿修理一件(昭3-119)	1	データ・A3版紙焼き
三宝院宸殿及庫理修理一件(昭3-120)	1	データ・A3版紙焼き
本派本願寺能舞台修理一件(昭3-121)	1	データ・A3版紙焼き
東福寺浴室修理一件綴(昭3-130)	1	データ・A3版紙焼き
万寿寺鐘楼修理一件綴(昭4-67)	1	データ・A3版紙焼き
醍醐寺金堂修理一件綴(昭5-53)	1	データ・A3版紙焼き
常寂光寺多宝塔修理一件綴(昭5-56)	1	データ・A3版紙焼き
大福光寺本堂修理一件(昭5-59)	1	データ・A3版紙焼き
高山寺五所堂修理一件綴(昭6-62)	1	データ・A3版紙焼き
大徳寺浴室及唐門修理一件(昭6-64)	1	データ・A3版紙焼き
大徳寺仏殿修理一件(昭7-55)	1	データ・A3版紙焼き
国宝大徳寺鐘楼修理一件(昭8-63)	1	データ・A3版紙焼き
国宝大覚寺宸殿修理一件(昭8-65)	1	データ・A3版紙焼き

国宝建造物風害復旧修理一件綴(昭9-46)	1	データ・A3版紙焼き
国宝九手神社本殿修理一件(昭9-47)	1	データ・A3版紙焼き
国宝佐牙神社本殿修理一件(昭9-48)	1	データ・A3版紙焼き
国宝正伝寺本堂修理一件(昭10-74)	1	データ・A3版紙焼き
国宝白玉手祭来酒解神社神輿庫修理一件(昭10-75)	1	データ・A3版紙焼き
国宝醍醐寺清瀧堂拜殿、薬師堂修理一件(昭10-78)	1	データ・A3版紙焼き
国宝醍醐寺経蔵修理一件(昭11-76)	1	データ・A3版紙焼き
国宝東福寺三門、附山廊修理一件(昭11-77)	1	データ・A3版紙焼き
国宝愛宕念仏寺本堂修理一件(昭11-80)	1	データ・A3版紙焼き
国宝本願寺四脚門修理一件(昭11-81)	1	データ・A3版紙焼き
国宝東福寺月下門修理一件(昭12-111)	1	データ・A3版紙焼き
南禅寺勅使門修理一件<重建>(昭14-96)	1	データ・A3版紙焼き
南禅寺方丈修理一件<国宝>(昭14-97)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(中立売)(昭20-109-2)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(昭20-110-1)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(五条)(昭20-116-2)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(五条)(昭20-117-1)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(七条)(昭20-118-2)	1	データ・A3版紙焼き
第1次建物疎開(昭20-127)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(昭20-128)	1	データ・A3版紙焼き
建物疎開一件(昭20-129)	1	データ・A3版紙焼き
第1次建物疎開登記関係綴(昭20-130)	1	データ・A3版紙焼き
第2次建物疎開事業関係綴(昭20-135)	1	データ・A3版紙焼き
官国幣社明細帳25~28ほか	4	データ・A3版紙焼き
外国人保護一件(有期昭31-3)ほか	5	データ・A3版紙焼き
計	46	

※重要文化財京都府行政文書修理事業の成果物を含む

b 文書の移動

平成24年2月7日に、旧周山保健所庁舎の行政文書文書庫に、計118点の行政文書を移動しました。

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料は36点で、明細は次のとおりです。

部門		資料名	点数	区分	寄贈者名
美術 工芸 資料	漆芸	平岩晃祥「赫苑」他	2点	寄贈	平岩浩三様
	日本画	三宅鳳白「瀧不動」	1点	寄贈	川越篁治様
	日本画	芦田裕昭「幽静」他	3点	寄贈	蘆田裕昭様
	日本画	中路融人「耀」	1点	寄贈	中路融人様

	日本画	冷泉為恭「美人図」他	2点	寄贈	藤井昌子様
	洋画	都鳥英喜「洛北の秋」他	2点	寄贈	都鳥進一様
	書跡	藤原定家「自撰名所歌巻物」他	25点	寄贈	(財)宇野茶道美術館様
合計		7件 36点			

7 調査

(1) 古文書

本年度、調査した文書は次のとおりです。

区分	調査名	調査先	期間	関連地域	概要
古代・中世	醍醐寺聖教調査	醍醐寺	平成23年 8月24・30日	京都市	醍醐寺聖教の名称、員数、書写年等の内容調査
近世・近代	近世・近代町関係資料調査	個人	平成23年 11月17日	京都市	表具商売の家に保存されていた資料

(2) 写真資料

本年度、調査した写真資料は次のとおりです。

番号	調査先	期間	概要
1	個人	平成24年 2月28日	近藤豊氏撮影のガラス乾板約700枚を含む約10万カットの写真資料で、戦前期から平成5年ごろまでの写真資料。

(3) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書の内、保存年数が経過した有期限保存文書(平成2年度完結20年保存、平成12年度完結10年保存等)2,271点から108点を選別しました。

また各課共用書庫に保管された平成17年度完結5年保存文書の内、保存年数が経過して廃棄対象となった有期限保存文書17点の文書を選別しました。

さらに、本庁各課から廃棄する際に直接連絡のあった文書についても選別を行いました。併せて、文書の引渡目録等を作成しました。

今年度の調査選別の状況は、次表のとおりです。

調査選別先 (主務課名)	調査選別の時期	調査選別の概要
総務調整課書庫	平成23年度中	保存年数が経過した平成2年度完結20年保存文書、平成12年度完結10年保存文書等の有期限保存文書2,271点について選別収集
府庁2号館地下各課共用書庫	平成23年度中	平成17年度完結5年保存文書等の有期限文書について選別収集

8 閲 覧

(1) 図書資料

ア 図書閲覧室

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室で 290 席あります。開架図書約 5 万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料は閲覧請求のうえ利用できます。

本年度の利用者数は 54,139 人（1 日平均 169 人）、書庫出納冊数は 54,017 冊でした。

イ 学習室

自習室で 140 席あります。本年度の利用者数は 29,215 人（1 日平均 91 人）でした。

閲覧室等利用状況

年月	開館 日数	図書閲覧室 (1日あたり)	学 習 室 (1日あたり)	書 庫 出納冊数	図書資料の相談件数			
					口頭	電話	文書	
23 年 4 月	28	3,879 (139)	2,148 (77)	4,288	917	792	106	19
5	18	2,950 (164)	1,598 (89)	3,405	700	614	76	10
6	26	4,325 (166)	2,278 (88)	5,538	1,167	1,018	126	23
7	29	5,646 (195)	3,248 (112)	4,414	1,005	868	108	29
8	30	6,095 (203)	3,942 (131)	4,877	1,053	925	113	15
9	27	4,350 (161)	2,080 (77)	4,247	915	809	86	20
10	29	4,953 (171)	2,526 (87)	5,269	1,194	1,048	108	38
11	27	4,687 (174)	2,207 (82)	4,846	1,355	1,219	98	38
12	25	4,016 (161)	2,010 (80)	4,854	1,033	923	61	49
24 年 1 月	25	4,150 (166)	2,426 (97)	4,316	1,075	974	90	11
2	27	4,785 (177)	2,522 (93)	4,379	1,219	1,101	98	20
3	29	4,303 (148)	2,230 (77)	3,584	1,225	1,088	110	27
計	320	54,139 (169)	29,215 (91)	54,017	12,858	11,379	1,180	299

ウ 図書資料の相談

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を行っています。図書閲覧室のカウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

本年度の相談状況は、次のとおりです。

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	4,917	214	14	5,145
複写依頼	3,312	124	125	3,561
特定図書の所蔵調査	1,533	427	47	2,007
図書に関する書誌的調査	246	20	6	272
人名・地名等の読み方調査	12	17	3	32
人物・団体調査	91	58	22	171
内容調査	835	217	55	1,107
その他	433	103	27	563
計	11,379	1,180	299	12,858

〔相談事例〕

○堀川通の建物疎開が始まった時期を知りたい。

【回答】

「京都市における建物疎開について」（『京都市政史編さん通信』第12号に収載）と『醒泉学区強制疎開の記録』によると、堀川通の建物疎開は昭和20年3月に始まったとされる。

【回答プロセス】

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワード「建物疎開」を検索した。検索結果に表れた資料のうち、『京都における広域建物疎開の実態』を調べたところ、下記の論文が紹介されていた。

『京都市政史編さん通信』の第12号に収載されている「京都市における建物疎開について」を調べたところ、堀川通の建物疎開は昭和20年3月に始まったとされる。また、3月末には居住者の移転が完了し、3月半ばから4月半ばにかけて建物のとり壊しが行われたと記述されていた。

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワード「強制疎開」を検索した。検索結果の資料のうち、『醒泉学区強制疎開の記録』を調べたところ、昭和20年3月に「五条通と堀川の附近が他の地域と共に疎開が開始された」と記述されていた。

【参考資料】

『京都における広域建物疎開の実態』 川口朋子著 [京都大学大学院人間・環境学研究科] [2007] p123-135 当館請求記号：K1/216.2/Ka92

「京都市における建物疎開について」 『京都市政史編さん通信』 京都市歴史資料館編刊 12号 2002 当館請求記号：キヨ/K

『醒泉学区強制疎開の記録』 太田嘉三著刊 1987 1冊 当館請求記号：K151/393.6/081

○匠斎庵（しょうさいあん）について、特に重要文化財に登録された頃の持ち主などを知りたい。

【回答】

『建築MAP京都』のp206に、「瀧澤家住宅（匠斎庵）」についての説明と断面図が掲載されている。また、『総覧日本の建築 6-1』のp223に、「瀧澤家住宅」について記述されている。

『京都府文化財総合目録』（平成18年版）のp30によると、瀧澤家住宅が文化財に指定されたのは昭和50年6月23日で、所有者は「個人」、住所は「京都市左京区鞍馬本町」とされる。また、『重要文化財滝沢家住宅修理工事報告書』に、図面や写真、建物の概要や重要文化財登録当時の所有者が記載されている。

【回答プロセス】

建築関係の資料を調べたところ、『建築MAP京都』のp206に、「瀧澤家住宅（匠斎庵）」について記述されており、断面図も掲載されていた。また、『総覧日本の建築 6-1』のp223に、「瀧澤家住宅」について記述されており、「国指定」の文化財であった。

『京都府文化財総合目録』（平成18年版）を調べたところ、p30に「瀧澤家住宅」があり、文化財に指定された年月や所有者などの情報が書かれていた。

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワード「瀧澤家」を検索したところ、『重要文化財滝沢家住宅修理工事報告書』が見つかった。

【参考資料】

『建築MAP京都』 ギャラリー・間編 TOTO出版 1998 289p 当館請求記号：K1/520.21/G17

『総覧日本の建築 6-1』 日本建築学会編 新建築社 2000 515p 当館請求記号：K0/521.08/N71

『京都府文化財総合目録』平成18年版 京都府教育委員会編 京都文化財団 2006 966p 当館請求記号：K0/709.16/Ky6

『重要文化財滝沢家住宅修理工事報告書』 京都府教育庁指導部文化財保護課編 京都府教育委員会 1985 31p 当館請求記号：K12/521.86/Ky6

○京都府内にある高等学校の学科ごとの生徒数を知りたい。

【回答】

公立高等学校については、『公立学校基本数一覧』に「公立高等学校小学科別生徒数」があり、全日制・定時制ごとに各学校の一覧がある。また、私立高等学校については、「京都府私立中学高等学校連合会」のウェブサイトに「平成22年度 京都府私立高等学校 生徒数一覧」がある。なお、2010年9月4日付けの『京都新聞』（朝刊）第23面に、「2011年度京都府私立高等学校生徒募集一覧」が掲載されていて、各学校の学科別の募集人員が記載されている。

【回答プロセス】

教育関係の資料を調べた。また、インターネットで、キーワード「私立高校 生徒数 京都」を調べた。私立高等学校に関しては、ひとつの資料にまとめられたものがみつからなかったため、入学試験の情報が掲載されていそうな月日の新聞を調べた。

【参考資料】

『公立学校基本数一覧』平成22年度 京都府教育委員会[編]刊 [2011] 1冊 当館請求記号：MK0/370.59/Ky6

「平成23年度 京都府私立高等学校 生徒数一覧」 京都府私立中学高等学校連合会 (<http://www15.ocn.ne.jp/~kshigaku/gakkou/seitosuu/seitosuu-h.htm> 最終アクセス日2012年4月18日)

『京都新聞』 マイクロフィルム版 京都新聞社編刊 当館請求記号：マ/キヨウ/K

○明治12年、コレラが流行したため、祇園祭の山鉾巡行を同年11月7日と14日に延期した。その頃、ドイツ皇帝の孫が入京していたため、15日に山鉾全基を京都御所に参入させたという。ドイツ皇帝の孫の名前を知りたい。

【回答】

『京都府史』（第三編別部 外国交渉類 第一雑）の明治12年の項に「独逸皇孫ハインリツヒ入京」とあり、皇孫を接待するよう11月4日に外務省から連絡があったことが記載されている。また、明治19年11月18日の『日出新聞』に、当時の祇園祭のことが取り上げられており、明治12年11月15日に「独逸国皇孫殿下」が、京都御所で山鉾巡行を観覧したことが記述されている。同様の記述は『近世祇園祭山鉾巡行史』のp74～75にもみられる。

【回答プロセス】

『京都府百年の年表 9 芸能編』で、明治12年11月の項を調べた。また、祇園祭関係の分類であるK/386.16の書架を調べたが、ドイツ皇帝の孫の名前はわからなかった。後日、当館歴史資料課所蔵の『京都府史』を調べた。

【参考資料】

『京都府百年の年表 9 芸能編』 京都府立総合資料館編 京都府 1971 304p 当館請求記

号：MK0/216.2/KY6/9

『日出新聞』 マイクロフィルム版 日出新聞社編刊 当館請求記号：マ/ヒ/テ/K

『近世祇園祭山鉾巡行史』 祇園祭山鉾連合会編刊 1974 104p 当館請求記号：K1/386.16/G47

『京都府史』 第三編別部 外国交渉類 第一雑 京都府行政文書 明治12年 当館歴史資料課所蔵

○京都の地名で「五条別れ」「柊野別れ」などがあるが、この「別れ」の意味を知りたい。

【回答】

『京都の地名検証』のp278～281に「野村別れ」の項がある。その記述によると、野村町は高野川の橋を渡った対岸にあり、野村への道の分岐点（わかれ道）を意味するとある。また、このような分岐点を「わかれ」と表示するのは京都の特色で、他の例として「柊野別れ」「五条別れ」などが挙げられている。

【回答プロセス】

京都の地名関係の資料を調べた。そのうち、『日本歴史地名大系 27京都市の地名』『角川日本地名大辞典 26京都府上巻』『京都大事典』などには記載されていなかった。

【参考資料】

『京都の地名検証』 京都地名研究会編 勉誠出版 2005 429p 当館請求記号：K0/291.62/Ky6

○祇園祭の山鉾のうち、特に長刀鉾の大きさが分かる資料をみたい。

【回答】

『祇園祭』の巻末に、月鉾と郭巨山の実測正面図、側面図、断面図、平面図が記載されている。また、『祇園祭 山鉾実測』（再版）に、長刀鉾（同書p72～76）を含む32の山鉾の平面図、正面図、側面図、断面図が記載されている。

【回答プロセス】

祇園祭関係の分類であるK/386.16の書架を調べた。また、京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワード「祇園祭」「実測」などを検索した。

【参考資料】

『祇園祭』 祇園祭協賛会編 京都府教育委員会編刊 1962 42p, 図版30図 当館請求記号：K1/386.16/G47

『祇園祭 山鉾実測』再版 京都市文化観光局文化観光部文化財保護課編刊 1987 110p 当館請求記号：K1/386.16/Ky6

○丸物京都店の屋上にあった航空灯台がいつ頃まで使われていたか知りたい。

【回答】

『株式会社設立五十周年記念社内誌』の年表によると、昭和11年10月1日に航空灯台の点灯式が行われた。しかし、廃止に関する記述はなかった。

また、『京都タワー二十年の歩み』のp54～55に、京都タワーの航空障害灯について「航空障害灯の設置については、株式会社丸物（現京都近鉄百貨店）の屋上に“京都丸物航空灯台”がすでに設置されていたが、これを廃止することによって、京都タワーの障害灯が認可された」と記述されている。同書p54には、認可の日付は昭和39年6月9日（同書の年表では8月9日）とある。

なお、全国の航空灯台の一覧を掲載したウェブサイトなどもみつけたが、丸物の航空灯台の

廃止日は記載されていなかった。

【回答プロセス】

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワード「丸物」「近鉄百貨店」などを検索した。

丸物の近くに京都タワーがあるので、その資料に記載があるかもしれないと考え、同システムでキーワード「京都タワー」を検索した。また、インターネットで、キーワード「丸物 航空灯台」を調べた。

【事前調査事項】

航空灯台は、昭和初期に夜間飛行の安全のために設置され、昭和43年に廃止が決まった。また、丸物京都店は現在のヨドバシカメラマルチメディア京都の場所にかつてあった百貨店で、その後は京都近鉄百貨店、プラッツ近鉄として2007年2月まで続いた。

【参考資料】

『株式会社設立五十周年記念社内誌』 京都近鉄百貨店総務本部総務部編 京都近鉄百貨店 1985 当館請求記号：K1/673.8/Ky6

『京都タワー二十年の歩み』 京都タワー 1979 175p 当館請求記号：K151/688.8/Ky6

○大正時代に、京都府立図書館で竹久夢二展を開催したことがあるときいた。その展覧会のポスターが掲載されている資料をみたい。

【回答】

竹久夢二展のポスターは、『竹久夢二展 描くことが生きること』のp42～43に4点掲載されている。その記述によると、展覧会の名称は「第一回夢二作品展覧会」で、1912（大正元）年11月23日～12月2日まで京都図書館（現在の京都府立図書館）で開催された。ポスターは現在、夢二郷土美術館で所蔵されている。

【回答プロセス】

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワード「竹久夢二」を検索した。

【参考資料】

『竹久夢二展 描くことが生きること』 竹久夢二[画] 千葉市美術館 夢二郷土美術館 和歌山県立近代美術館 2007 279p 当館請求記号：726.5/Ta61

○明治22年3月の京都府告示第24号で、京都の地名表記に使われる「上ル下ル」が定められたときいた。この告示が、京都における「上ル下ル」を定めた最古のものか知りたい。

【回答】

京都府告示第24号については、『京都府府令達要約』（明治22第10編下巻）のp227～228に記載されている。その記述によると、住所の記載方法を「京都市何区何通何小路何町上ル下ル又は東入西入何町何番戸」と定めるとしている。また、『京都市市町村編入の町名総覧』のp15によると、「この通達によって京都市の町名の呼び方が決定され」とあり、同資料のp10～21「字・町名改称の沿革」には、他に「上ル下ル」について定めたものは記載されていないため、同資料によると告示第24号が最初のものとなる。

【回答プロセス】

京都府の定めた告示・府令・通達等が記載されている資料を調べた。また、京都の町名変遷に

関する資料を調べた。

【参考資料】

『京都府府令達要約』 明治22第10編下巻 京都府内務部第一課編 京都府 1891 355p 当館請求記号：MK0/318.1/Ky6/10-2

『京都市市町村編入の町名総覧』 京都市理財局財務部財産監理課編刊 1999 372p 当館請求記号：K1/318.12/Ky6

○烏帽子がいつ頃から使われるようになったかを知りたい。

【回答】

烏帽子が使われるようになった時代については、『日本風俗史事典』のp54に「奈良時代に役人が略服のときに被るものとして制定された圭冠（けいかん）という冠の一種から変化したといわれる」と記述されている。また、『大日本百科事典 3』のp480に「原型は埴輪などにもみられるが、天武天皇10年（682）に新しく漆紗冠と圭冠ができ・・・後者が後の烏帽子になった」と記述されている。

【回答プロセス】

『国史大辞典』『有識故実大辞典』『古事類苑』で、「烏帽子」の項を調べた。『国史大辞典』と『有識故実大辞典』に記述されている内容はほぼ同じものだった。

風習・民俗関連の資料を調べたところ、『日本風俗史事典』に「烏帽子」の項があった。また、『大日本百科事典』を調べた。

【参考資料】

『国史大辞典 2』 国史大辞典編集委員会編 吉川弘文館 1980 1014p, 図版132p 当館請求記号：210.033/K053/2

『有識故実大辞典』 鈴木敬三編 吉川弘文館 1996 718, 130p, 図版30枚 当館請求記号：210.09/SU96

『古事類苑 42服飾部』 吉川弘文館 1979 1526p 当館請求記号：031.2/K039/33

『日本風俗史事典』 日本風俗史学会編 弘文堂 1980 812, 43p 当館請求記号：380.3/N71

『大日本百科事典 3』 小学館 1980 591p 当館請求記号：031/D25/3

○五山送り火は以前、現在の山とは別の山でも行われていた。どの山で送り火が行われていたのか、その場所を知りたい。

【回答】

『京都大事典』のp583に、「享保2年（1717）の「諸国年中行事」には市原の「い」、鳴滝の「一」が載る。さらに西山には「竹の先に鈴」、北嵯峨には「蛇」、観空寺には「長刀」があった」と記述されている。また、『京都・火の祭事記』のp4～5に、現存する五山の他に前述の五山を加え十山で行われていたが、「資金難等の理由で昭和初期（第二次世界大戦前）までに次々となくなり、現在の五山になった」と記述されている。『京都大文字五山送り火』にも同様の記述がみられる。

『京都の不思議』のp244～246の出典となった『京の大文字ものがたり』のp164～167「失われた送り火」によると、「い」の字は現在の京都市左京区静市の市原町とある。また、「竿に鈴」「竹先に鈴」については様々な記述があり、一乗寺、静原、西山松尾山等の地名がみられる。

上記の地名より更に詳細な場所を示した資料はみつからなかった。なお、『京都細見図』には五山の他に、市原の辺りの山に「い」の字が記載されている。

【回答プロセス】

大文字五山送り火に関する資料を調べた。また、江戸時代の古地図や絵図で、送り火の文字がある山の場所を調べた。

【参考資料】

『京都大事典』 佐和隆研[ほか]編 淡交社 1984 1083,91p 当館請求記号：K0/291.62/Ky6
『京都・火の祭事記』 薪く炭くKYOTO編刊 2004 65p 当館請求記号：K1/386.16/Sh64
『京都大文字五山送り火』 大文字五山保存会連合会編 京都市文化観光資源保護財団編刊 2000 65p 当館請求記号：K1/386.16/Ky6
『京の大文字ものがたり』 岩田英彬著 松籟社 1990 187p 当館請求記号：K1S/386.16/197
『京都の不思議』 黒田正子著 光村推古書院 2002 275,4p 当館請求記号：K1/291.62/Ku72
『京都細見図』 [中井書房(発売)] [199-] 1枚 文久3年改正再刻平野屋茂兵衛刊を写真複製したもの 当館請求記号：K1/291.62/Ky6

○千代の古道（ちよのふるみち）のルートを知りたい。

【回答】

『日本歴史地名大系 27京都市の地名』のp1067に、「歌の上のことばであったものが、近世に入って、現実の道に特定されたもの」と記載されていて、古代には特定のルートはなかったとしている。また、『京の古道を歩く』のp344に、「鳴滝中道町から西進し・・・広沢池の東へ通ずる道」「双ヶ丘の南より・・・広沢池に至るコース」「周山街道の途中、宇多野から分かれて西進し、国立療養所宇多野病院を東西に横切る旧道」「嵯峨野千代ノ道町から・・・広沢池に南から接近する道」の4つのルートが紹介されている。『京都の大路小路』のp290～291には、そのうち現在有力視されている1本が図解されている。

【回答プロセス】

『日本歴史地名大系 27京都市の地名』で、「千代の古道」を調べた。また、京都の地誌に関する資料を調べた。

【参考資料】

『日本歴史地名大系 27京都市の地名』 平凡社 1979 1201p 当館請求記号：K1/291.62/H51
『京の古道を歩く』 増田潔著 光村推古書院 2006 403p 当館請求記号：K0/291.62/Ma66
『京都の大路小路』 小学館 2003 350p 当館請求記号：K1/291.62/Ky6

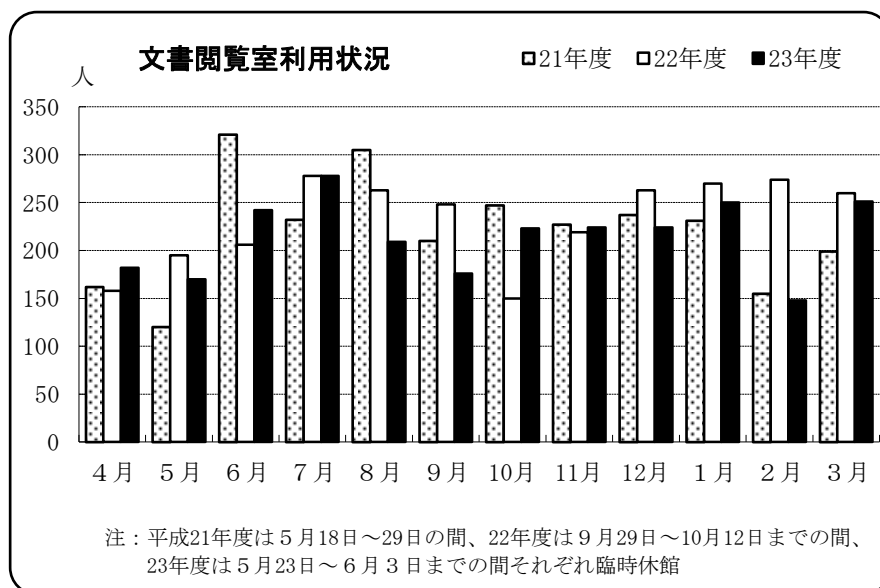
エ 資料紹介コーナー

特定のテーマに関する図書や雑誌を集めた資料紹介コーナーを図書閲覧室に設け、総合資料館が所蔵する図書資料を広く紹介しています。

テーマ	期間
京都新聞連載 「『京近江 名所句巡り』に紹介された本たち」	平成23年7月29日～平成24年3月31日

(2) 文書資料

文書閲覧室は、古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧室で、35席あります。閲覧室に配架してある東寺百合文書写真帳、京都府布令書や写真資料コピーを自由に利用できるほか、デジタル画像の閲覧(一部は閲覧申請が必要)がで



きます。また、書庫内の文書資料は閲覧申請のうえ利用できます。

本年度の利用者数は2,515人(1日平均8人)、書庫資料閲覧点数は11,926点(1日平均37点)でした。

ア 古文書の閲覧

(ア) 古代・中世文書の閲覧

館蔵文書は東寺百合文書(原本)が94人、786点、その他の原本閲覧は随心院文書が1人、1点でした。文書複製資料は東寺観智院聖教文書等が、140人、976点でした。

その他閲覧室に配架している東寺百合文書写真帳の利用が40人あり、合計274人、1,763点の利用がありました。

(イ) 近世・近代文書の閲覧

館蔵文書は若杉家文書、中井家文書、古久保家文書等が、500人、2,612点、寄託文書は谷口家資料、本郷家文書等が、39人、487点、文書複製資料は伊佐家文書、森島国男家文書等が、16人、193点で、合計555人、3,292点の利用がありました。

イ 行政文書の閲覧

学術調査研究を目的とする一般の閲覧者は821人で4,412点の利用がありました。

また、府職員等の公務上の閲覧者は327人で2,336点の利用があり、閲覧者の合計は1,148人、利用点数の合計は6,748点でした。

文書閲覧室の利用状況

年月	開館日数 (日)	利用者数														
		古文書					行政文書				写真資料			近代文学資料	その他	合計
		古代・中世			近世・近代	計	一般閲覧	公務	計	閲覧	及びデジタル画像	写真資料コピー	計			
		閲覧	写真帳 東寺百合文書	小計												
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
23年4月	28	10	4	14	37	51	58	16	74	0	28	28	0	29	182	
5月	18	13	0	13	56	69	44	22	66	0	10	10	1	24	170	
6月	26	19	5	24	54	78	94	27	121	3	15	18	0	25	242	
7月	29	7	4	11	82	93	84	30	114	3	23	26	0	45	278	
8月	30	13	10	23	35	58	68	24	92	3	7	10	3	46	209	
9月	27	18	3	21	40	61	64	20	84	3	6	9	1	21	176	
10月	29	12	2	14	44	58	78	44	122	1	13	14	1	29	224	
11月	27	20	3	23	53	76	64	37	101	3	6	9	0	38	224	
12月	25	8	5	13	44	57	65	34	99	2	6	8	0	86	250	
24年1月	25	12	1	13	39	52	66	23	89	3	4	7	0	0	148	
2月	27	26	0	26	31	57	59	24	83	2	7	9	0	12	161	
3月	29	76	3	79	40	119	77	26	103	5	7	12	0	14	248	
合計	320	234	40	274	555	829	821	327	1,148	28	132	160	6	369	2,512	

年月	開館日数 (日)	書庫資料閲覧利用数								
		古文書			行政文書			写真資料	近代文学資料	合計
		古代・中世	近世・近代	計	一般閲覧	公務	計			
		(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)
21年4月	28	89	186	275	369	99	468	0	0	743
5月	18	59	182	241	188	119	307	0	1	549
6月	29	102	199	301	464	210	674	13	0	988
7月	29	51	514	565	478	254	732	5	0	1,302
8月	30	104	242	346	391	185	576	1	28	951
9月	27	174	390	564	313	179	492	1	3	1,060
10月	29	38	185	223	423	313	736	0	3	962
11月	27	243	222	465	313	295	608	1	0	1,074
12月	25	34	193	227	317	297	614	2	0	843
22年1月	25	63	263	326	346	116	462	25	0	813
2月	27	309	265	574	277	119	396	18	0	988
3月	29	497	451	948	533	150	683	22	0	1,653
合計	323	1,763	3,292	5,055	4,412	2,336	6,748	88	35	11,926

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。

本年度は、合計14件、203点の特別観覧がありました。主なものは次のとおりです。

申請者の区分	部門	資料名	点数
個人	日本画	岩倉寿「草丘」他	10点
個人	日本画	伝・山岡鉄舟「どくろ図」他	11点
個人	日本画	呉春関係資料	7点
個人	日本画	鈴木松年「八岐大蛇退治図」他	2点
個人	風俗・陶芸・漆器	吉川観方コレクション	31点
個人	日本画	宇田荻邨「鴨川の夕立」他	11点
個人	日本画	玉瀾作品	1点
個人	洋画	小牧源太郎作品	27点
個人	洋画	小牧源太郎作品	27点
個人	写真	本田かな「爛漫」他	2点
個人	日本画	「百鬼夜行絵巻」	1点
個人	日本画	池大雅資料	71点
個人	郷土玩具	郷土人形（伏見人形）	1点
個人	日本画	谷口香嶠「出町柳農婦図」	1点

合計14件203点

9 東寺百合文書の翻刻

東寺百合文書をより広く利用してもらうため、翻刻して活字化する史料集の刊行を平成15年度に開始しました。本年度はその第9巻を刊行しましたが、概要は次のとおりです。

書名	「東寺百合文書 九」
内容	卜函の一部160点および補遺4点・チ函の一部41点。巻末に花押一覧を収録
体裁	A5判 444頁
定価	9,975円（本体価格 9,500円）
編集	京都府立総合資料館
発行	株式会社思文閣出版
発行日	平成23年10月1日

10 共同研究等（再掲）

(1) 大学等研究機関との共同研究

ア 古文書

当館所蔵資料等について、平成14年度（平成13年度は共同の事前調査）から府立大学文学部歴史学科との間で共同研究を行っています。本年度も、次のとおり、時代別研究を継続して行うとともに、これまでの近世部門の研究成果を公表しました。

また、上野家文書を対象として古文書整理の実習を行いました。

◎時代別研究

時代	研究テーマ	対象資料	備考
近世	近世広域行政機関（京都町奉行所等）文書の研究	「起源」（古久保家文書） 「元文四年 諸事日記」（古久保家文書）	府立大学大学院講座「地域史研究」において対象資料の解読分析

◎成果公表

近世部門資料翻刻

方法	資料名
資料館紀要による成果報告（京都町奉行所関係資料集四として解読文を掲載）	「起源」（古久保家文書）

イ 行政文書

京都府立大学や立命館大学歴史都市防災センターなどと協力しつつ、京都市明細図の検討を進めるとともに、以下のとおりワークショップの開催に協力しました。

京都市明細図関係

ワークショップ名	内容等
<p>京都市明細図ワークショップ</p> <p>日時：平成23年6月15日 17:30～19:30 場所：立命館大学歴史都市防災研究センター 主催：文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」（立命館大学）、アート・リサーチセンター 共催：立命館大学歴史都市防災研究センター 協力：京都府立総合資料館</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 京都市明細図の概要 福島幸宏（総合資料館歴史資料課主任） 2 京都市明細図のデータベース化 赤石直美（立命館大学衣笠総合研究機構PD） 3 明細図の描画からわかること（製図実演を含む） 森三紀（森図房） 4 ディスカッション （司会進行）矢野桂司（立命館大学文学部教授）
<p>占領期京都を考えるワークショップ</p> <p>日時：平成24年3月16日 13:00～16:00 場所：flowing KARASUMA（旧北國銀行） 主催：文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」（立命館大学） 共催：立命館大学歴史都市防災研究センター 協力：京都府立総合資料館</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 講演「古都の占領—占領期研究序論」 西川祐子（元・京都文教大学 教授） 2 報告「占領期関連資料と近代京都のGISデータベース構築」 赤石直美（立命館大学衣笠総合研究機構 PD） 3 話題提供「占領期京都研究の可能性」 長志珠絵（神戸大学国際文化学部 教授） 玉田浩之（京都工芸繊維大学・特任助教） 4 座談会「占領期京都の記憶とその素描」 進行：西川祐子

(2) 学会等視察受入れ

受入年月日	受入学会等名	受入者数
平成23年 7月16日	平安京・京都研究集会	30名
平成24年 3月13日	日本古文書学会	39名

(3) 大学学外授業等の受入れ

各大学の史料講読などの学外授業等に協力し、文献資料、古文書、行政文書等の概要及び閲覧制度、資料の取扱いなどに説明した後、実際に資料の閲覧をしていただきました。

受入年月日	受入大学名	受入学生数
平成23年 6月12日	佛教大学歴史学部	21名
平成23年 7月 9日	学習院大学大学院アーカイブズ専攻	28名
平成23年 7月22日	京都府立大学文学部	18名
平成23年12月 7日	京都府立大学文学部	43名
平成23年12月 8日	京都工芸繊維大学造形工学部門	15名
平成23年12月16日	京都府立大学文学部	11名
平成24年 1月19日	佛教大学歴史学部	21名

(4) 大学への出講

京都府立大学文学部の博物館実習講義(学芸員課程)、京都工芸繊維大学の「歴史学」講義に出講(通年)しました。

11 図書館実習・インターンシップ

司書資格取得を目指す学生を対象とした図書館実習及び将来へ向けての職場体験を目的としたインターンシップを次のとおり受け入れました。

(1) 図書館実習

同志社大学学生	2名	7月26日～	29日	4日間
同志社女子大学学生	2名	8月23日～	26日	4日間
龍谷大学学生	2名	8月30日～	9月2日	4日間

(2) インターンシップ

立命館大学学生	6名	9月13日～16日・21日・22日	6日間
---------	----	-------------------	-----

12 館蔵資料の撮影と複写

館蔵資料を調査研究、出版等に使用するための特別撮影及び利用は 392件、1,272 点でした。また、館蔵資料の複写利用は12,454件、306,347枚でした。

特別撮影及び利用状況

資料種別	件数	点数
図書資料	119件	369点
文書資料	240	853
古文書	67	206
行政文書	129	348
写真資料	40	292
近代文学資料	4	7
管理委託現物資料	33	50
合計	392	1,272

複写状況

資料種別	複写種別		件数	枚数
図書資料	電子式複写	白黒	11,726件	231,319枚
		カラー		6,629
	マイクロ複写			19,566
	マイクロデータプリンター			5,200
	デジタル画像プリント			369
	小計			11,726
文書資料	電子式複写	白黒	728	17,577
		カラー		1,664
	マイクロ複写			23,062
	マイクロデータプリンター			572
	デジタル画像プリント			389
	小計			728
合計			12,454	306,347

13 資料の貸与

本年度、展覧会の展示等のため、次のとおり館蔵資料の館外貸与を行いました。

(1) 図書資料

本年度は、次のとおり、合計14件、103点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
京都府立丹後郷土資料館 春季特別展「美の風景」 -天橋立と名所絵屏風の世界-	明月記	1
	十訓抄	2
	二十一代集(新千載和歌集上・下)	2
	古今著聞集	1
広島県立歴史民俗資料館 春の特別企画展 「歴史の風景・眺めてみれば」 -鳥瞰図の世界-	広島県	1
	絶勝鞆之浦	1
	宮島広島名所図絵	1
	西日本鳥瞰大図絵	1
	瀬戸内海航路図絵	1

	世界之公園瀬戸内海御案内	1
	日本鳥瞰中国四国大図絵	1
	山陽電軌沿線案内図	1
	旅と名所 第22号	1
城陽市歴史民俗資料館 平成23年度夏季特別展 「あの世・妖怪-闇にひそむものたち-」	百鬼夜行圖 画図百鬼夜行	1 4
亀岡市文化資料館 第50回企画展「災害から防災へ ～祈り・学び・つながる心～」	類聚國史 續日本紀	1 6
京都府京都文化博物館 「新天地を求めた京焼き ～清水焼団地五十年の歩み～」展	清水焼団地計画案	1
京都嵯峨芸術大学附属博物館 京都嵯峨芸術大学附属博物館開館10周年記念展 「おもちゃ絵の軌跡 ～郷土玩具とおもちゃ絵～」	巨泉おもちゃ繪集 おもちゃ繪集 郷土玩具集 土俗玩具集 版芸術	2 9 6 8 18
茨城県立歴史館 平成23年度特別展「妖怪見聞」	本草綱目 續日本紀 枕草子春曙抄 今昔物語 拾芥抄	1 1 1 2 2
亀岡市文化資料館 亀岡市文化資料館第27回特別展 「丹波の祭礼と風流」	寶永花洛細見図 都林泉名勝圖會 都すゞめ案内者 都名所車 京町鑑宿附都年中行事 都名所圖會	3 1 1 1 1
八代市立博物館未来の森ミュージアム 平成23年度秋季特別展覧会 「大妙見祭展～華ひらく祭礼風流～」	都名所圖會 祇園會細記	1 1
京都府立山城郷土資料館 平成23年度特別展 「木津川ものがたり ～木津川が生み、育てた文化～」	京都名所十景	1
大山崎町歴史資料館 第19回企画展 「戦国の茶湯-利休と秀吉を支えた文化」	都林泉名勝圖會	1
神戸市立博物館 特別展「日本絵画のひみつ」	西洋襍記 鹿角圖譜 萬國人物圖纂	5 4 2
神戸市立博物館 大河ドラマ特別展 「平清盛」	平家物語	1
大津市歴史博物館 大津市歴史博物館第58回企画展 「車石-江戸時代の街道整備」	京童 拾遺都名所圖會 攝津名所圖會 日本山海名産圖會	1 2 1 1
14件		103

(2) 文書資料

ア 古文書

本年度は、次のとおり、合計7件、22点の貸与を行いました。

区分	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
古代・中世	九州国立博物館／特別展「よみがえる国宝 - 守り伝える日本の美 - 」	東寺百合文書	4
	斎宮歴史博物館／平成23年度特別展「後醍醐 - 最後の斎王とその父 - 」	東寺百合文書	3
	大山崎町歴史資料館／第19回企画展「戦国の茶湯 - 利休と秀吉をささえた文化」	東寺百合文書	7
	文化庁／文化審議会における文化財調査のため	東寺百合文書	3
近世・近代	大阪市立住まいのミュージアム／企画展「住吉・平野郷・田邊 - 歴史のまちなみ」展	中井家文書	1
	城陽市歴史民俗資料館／平成23年度夏期特別展「あの世・妖怪 - 闇にひそむものたち - 」	妖怪絵巻	1
	大津市歴史博物館／第58回企画展「車石 - 江戸時代の街道整備」	近江屋吉左衛門家文書、城州日岡峠新道図記、松屋文書・甲	3

イ 行政文書

本年度は、次のとおり、合計3件、6点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
亀岡市文化資料館第50回企画展「災害から防災へ」	水害取調一件 ほか	2
九州国立博物館／特別展「よみがえる国宝 - 守り伝える日本の美 - 」	廿三院保存一件	1
大津市歴史博物館／第58回企画展「車石 - 江戸時代の街道整備」	日ノ岡峠切下普請一件 綴込	3

ウ 近代文学資料

本年度は、次のとおり、合計1件、7点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
逸翁美術館「与謝野晶子と小林一三」	与謝野晶子短冊「源氏物語五十四帖」ほか	7

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計16件92点の貸与を行いました。

主な貸与先等は次のとおりです。

貸出先	展覧会等の名称	部門	資料名	点数
城陽市教育委員会	特別展「あの世・妖怪 - 闇にひそむものたち - 」	日本画	「産女図」ほか	4

大阪府立弥生文化博物館	特別展「豊饒をもたらす響き銅鐸」	考古資料	「銅鐸（右京区梅ヶ畑出土）」	4
国立歴史民俗博物館	企画展示「紅板締め-江戸から明治のランジェリー-」	染織	「板締染道具」	1
石川県立美術館	「地域文化が育んだ美術館・博物館の名品展」	陶磁器、染織	「錆絵染付舟形向付」ほか	16
三井記念美術館	特別展「華麗なる〈京蒔絵〉-三井家と象彦漆器」	漆芸	七代西村彦兵衛「春秋蒔絵文庫」	1
京都国立近代美術館	「『織』を極める 人間国宝北村武資展」	染織	北村武資「忍冬華文羅着物」ほか	2
熱田神宮宝物館	企画展「日本の神話～近・現代絵画を中心に～」	日本画	「八岐大蛇退治図」ほか	2
財団法人 松伯美術館	特別展「没後10年 上村松篁展～鶴に挑む」	日本画	上村松篁「壬生狂言」	1
茨城県立歴史館	特別展「妖怪見聞」	日本画	「百鬼夜行絵巻」ほか	2
福知山市	平成23年度国民文化祭開催による福知山市佐藤太清記念美術館特別展「丹波・丹後の百景」	日本画	水田慶泉「丹波高原」ほか	21
明石市立文化博物館	「第23回京都美術文化賞受賞記念展」	金工	斎田梅亭「截金交菱文飾篁」ほか	6
「インド・コレクターズ」展実行委員会（福岡アジア美術館）	「魅せられて、インド。-日本のアーティスト/コレクターの眼」展	日本画	秋野不矩「ヴィッシュヌプール寺院」	1
田辺市立美術館	「生誕110年記念 上村松篁展」	日本画	上村松篁「壬生狂言」	1
公益財団法人 中信美術奨励基金	「造形思考 小牧 源太郎展」	洋画	小牧源太郎「城崎風景」ほか	27
東京国立近代美術館	特別展「『織』を極める 人間国宝・北村武資」	染織	北村武資「忍冬華文羅着物」ほか	2
千葉市美術館、三重県立美術館	「蕭白とその時代」（仮称）	日本画	大西酔月「高士騎牛図」	1

合計16件92点

14 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、本年度、28館、98冊の貸出し、9館、46冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	2冊	33冊	南丹市日吉図書室	3冊	—
長岡京市立図書館	4	1	福知山市立図書館中央館	4	—
宇治市中央図書館	1	—	福知山市立図書館大江分館	1	—

宇治市東宇治図書館	1	—	福知山市立図書館夜久野分館	1	—
宇治市西宇治図書館	1	—	舞鶴市立東図書館	—	1冊
城陽市立図書館	2	—	舞鶴市立西図書館	6	—
八幡市立八幡市民図書館	9	2	京丹後市立大宮図書室	1	—
京田辺市立中央図書館	1	—	京丹後市立あみの図書館	5	—
木津川市立中央図書館	2	—	京都市中央図書館	2	—
木津川市立加茂図書館	—	1	京都市北図書館	1	—
木津川市立山城図書館	1	—	京都市岩倉図書館	2	—
精華町立図書館	8	2	京都市下京図書館	1	—
亀岡市立図書館	3	2	京都市右京中央図書館	15	3
京都学園大学図書館	1	—	京都市醍醐中央図書館	2	1
南丹市立中央図書館	17	—	京都市山科図書館	1	—
			計	98冊	46冊

(2) 国立国会図書館

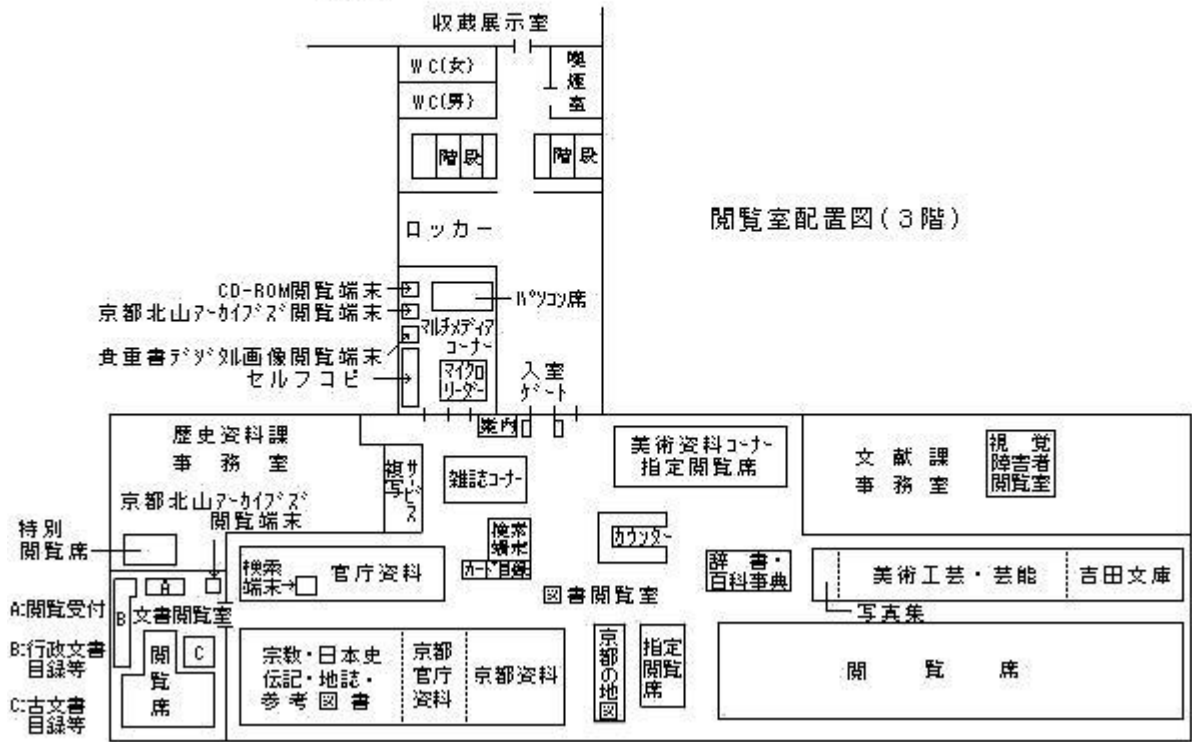
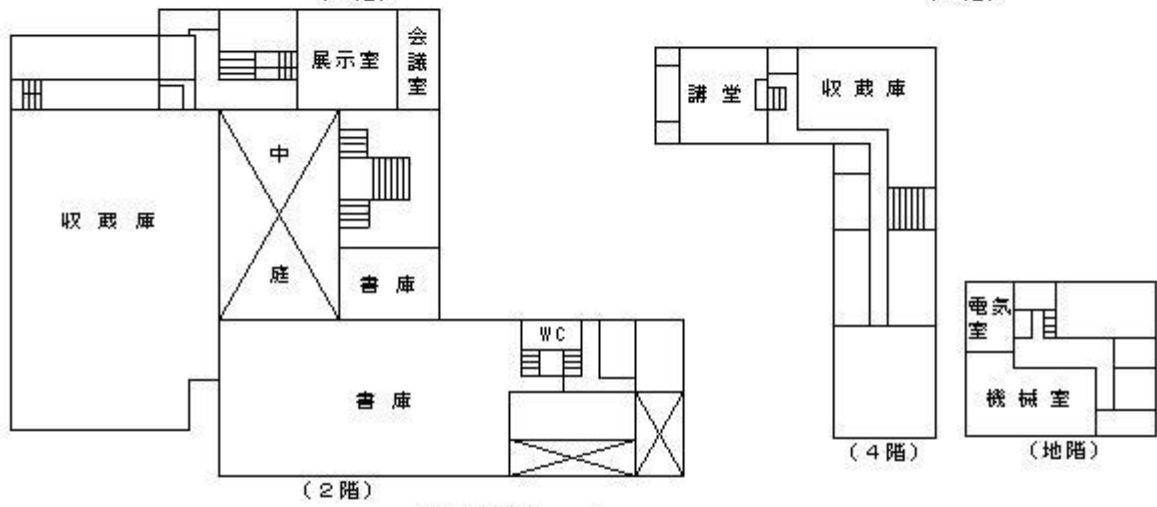
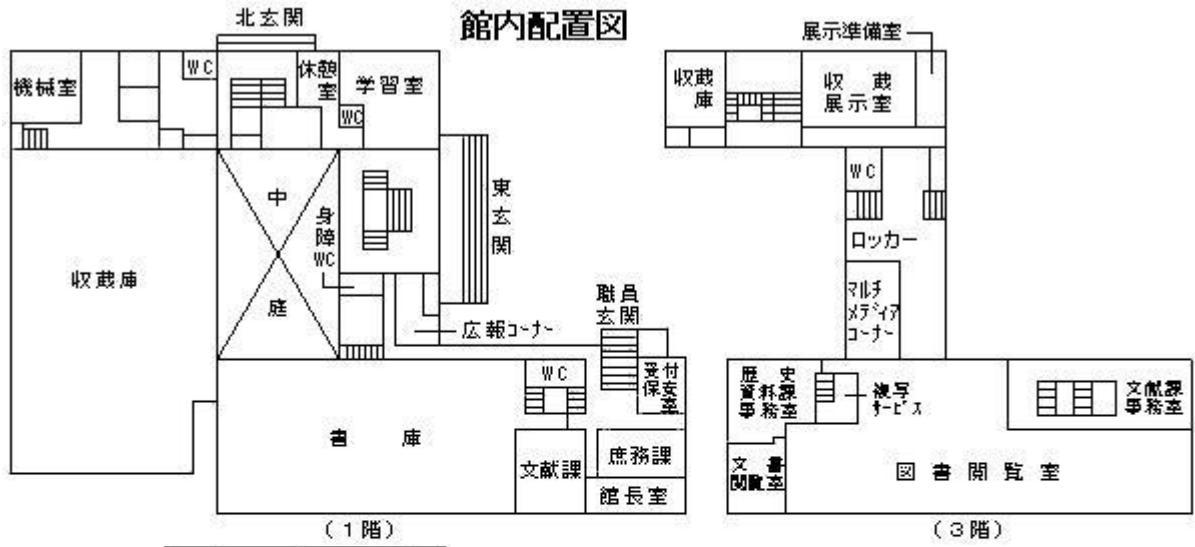
昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、平成23年度の借受利用は、0件、0冊でした。

15 施設の状況

敷地面積	13,911.95㎡		
建物面積	4,501.57㎡	延	13,743.33㎡
建設費	建物及び造園工事費	54,178万円	内部設備費 15,007万円
	計	69,185万円	
構造	鉄筋コンクリート 一部鉄骨 地上4階 地下1階		

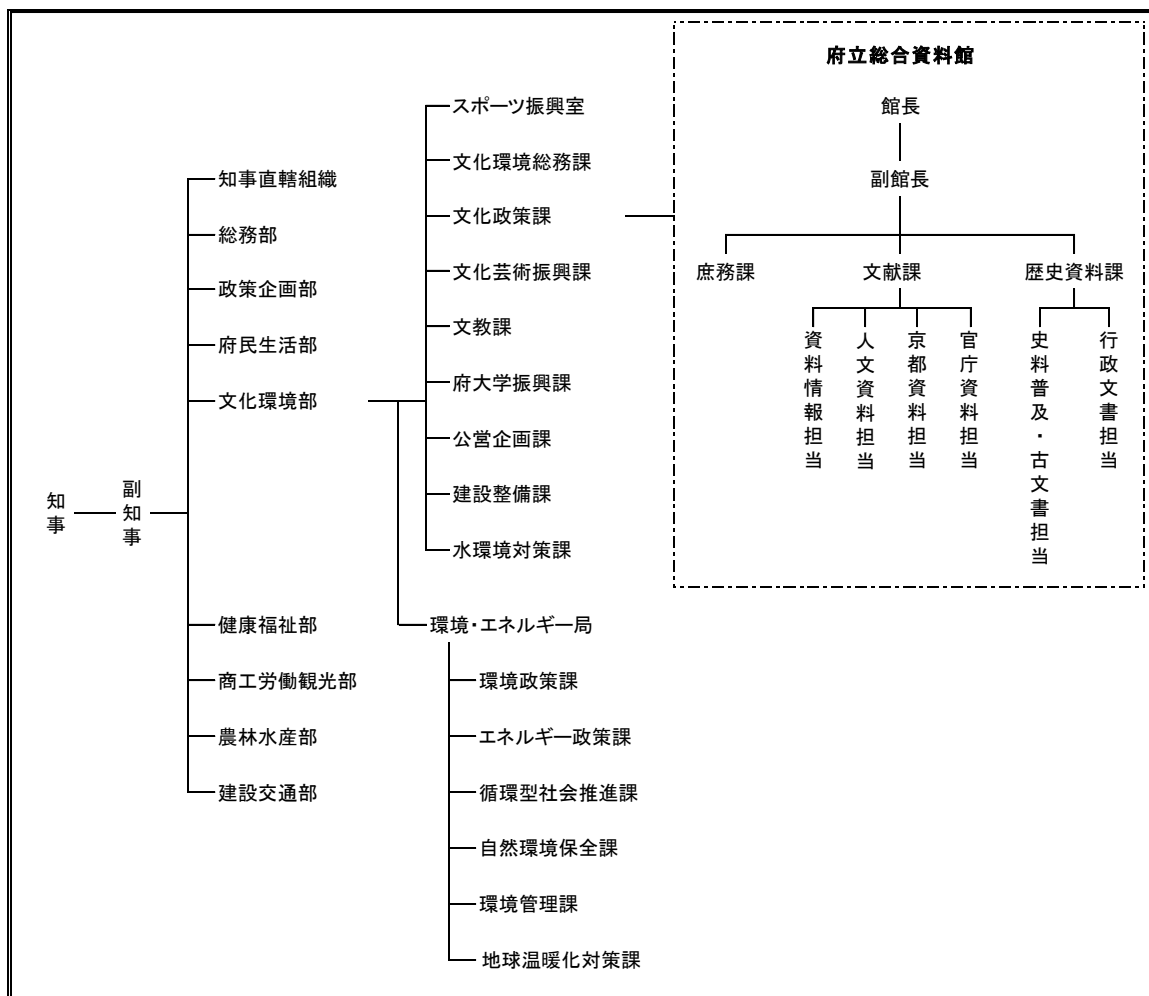
主要室の規模（平成23年3月31日現在）

1 階		2 階		3 階		4 階	
学習室	189㎡	展示室	194㎡	図書閲覧室	975㎡	講堂	327㎡(350席)
書庫	1,089㎡	書庫	1,045㎡	文書閲覧室	85㎡		
風俗資料室	116㎡	収蔵庫	478㎡	マルチメディアコーナー	65㎡		
収蔵庫	1,014㎡	第三書庫	335㎡	収蔵展示室	255㎡		



16 組織・業務分担・予算（平成24年4月1日現在）

(1) 組織



(2) 職員数

	職員	嘱託
館長	1	—
顧問	—	1
副館長	1	—
庶務課	9 ※	3
文献課	16	10
歴史資料課	10	1
計	37	15

注 副館長は庶務課長事務取扱であり、※の数に課長は含まない。

(3) 業務分担

ア 庶務課

- 1 総合資料館の整備計画に関する事。
- 2 規程等の制定改廃に関する事。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関する事。
- 4 広報及び文書事務等に関する事。
- 5 予算、決算及び会計事務に関する事。
- 6 財産の管理、運営及び庁舎の警備に関する事。
- 7 調査・研究機関との連携及び生涯学習事業の企画に関する事。
- 8 (財)京都文化財団への業務委託及び総合資料館友の会に関する事。
- 9 保安業務に関する事。
- 10 他課の所管に属さない事。

イ 文献課

- 1 図書等資料の収集、整理及び保存に関する事。
- 2 図書等資料の閲覧、利用及びレファレンスに関する事。
- 3 図書等資料の普及に関する事。
- 4 図書閲覧室及び書庫の管理運営に関する事。
- 5 関係機関との連絡調整に関する事。

ウ 歴史資料課

- 1 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の調査、収集、整理及び保存に関する事。
- 2 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧及び利用に関する事。
- 3 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の普及に関する事。
- 4 文書閲覧室及び文書庫の管理運営に関する事。
- 5 関係機関との連絡調整に関する事。

(4) 予算状況（平成24年度当初予算）

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
図書収集整理閲覧事業	6,897	資料等の収集・閲覧等
文化資料収集保存展示事業	40,896	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
歴史資料収集公開事業	1,903	古文書、行政文書の収集・整理等
図書館情報ネットワークシステム運営事業	3,895	図書館情報ネットワークシステム運営事業
総合資料館館蔵資料保存・活用推進事業	1,212	展覧会、公開講座の開催等
重要文化財京都府行政文書修理事業費	8,000	京都府行政文書の修理・補修費用
統合データベース構築事業	5,000	所蔵資料の検索を容易にする統合データベース構築のための仕様作成
国際京都学センター開設準備費	1,000	国際シンポジウム（テーマ お茶）の開催
計	68,803	

* 管理費を除く

17 平成23年度の主な活動

平成23年

4月6日～12日	災害ボランティア派遣（福島）
4月20日	国会図書館関西館長来館
4月22日	京都府図書館等連絡協議会（以下「京図連協」）総会（府立図書館）
4月22日	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（以下「全史料協」）近畿部会第24回役員会（奈良）
4月25日	東日本大震災に対する全史料協臨時打合せ会議（東京）
5月13日	全史料協第1回大会・研修委員会（東京）
5月17日	大阪府府政情報室見学
5月18日	京図連協広報委員会（府立図書館）
5月26日～27日	全史料協第1回役員会（神奈川）
5月26日～6月2日	災害ボランティア派遣
5月27日	全国知事会、全国市長会、全国町村会に対する要望（全史料協）（東京）
6月3日	全史料協近畿部会総会（福井）
6月8日	内閣総理大臣、関係閣僚等に対する要望（全史料協）（東京）
6月8日	全国公文書館長会議等意見交換会（東京）
6月9日	全史料協第1回東日本大震災臨時委員会（東京）
6月9日	全国公文書館長会議（東京）
6月16日	国立国会図書館長との懇談会（東京）
6月17日	全国公共図書館協議会総会（東京）
6月17日	全史料協第2回大会・研修委員会（東京）
6月23日	京図連協相互協力委員会（府立図書館）
7月1日	画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
7月2日～3日	全史料協東日本大震災水損資料復旧プロジェクト報告会（岩手）
7月2日～3日	全史料協第2回東日本大震災臨時委員会（岩手）
7月13日	京図連協研修研究委員会（府立図書館）
7月26日～29日	図書館実習（同志社大学）
7月28日	全史料協臨時委員会被災実態調査WG（東京）
8月3日	乙訓の文化遺産を守る会閲覧
8月4日	三重県立博物館視察
8月18日	寺子屋講座「飲んで！学んで！宇治茶」
8月23日～25日	古文書入門教室
8月23日～26日	図書館実習（同志社女子大学）
8月24日・30日	醍醐寺聖教調査（醍醐寺）
8月25日～26日	全史料協第2回役員会（群馬）
8月29日～9月22日	岩手県陸前高田市被災公文書救援活動（全史料協）（岩手）
8月30日～9月2日	図書館実習（龍谷大学）
8月31日～9月2日	図書館等職員著作権実務講習会（京都大学）
9月1日・15日・29日	平成23年度歴史資料カレッジ（前期）
9月2日	第20回京都図書館大会（同志社大）
9月7日	京図連協広報委員会（府立図書館）
9月13日～16日・21日・22日	立命館大学インターシップ学生受入（6名）
9月15日	府大ACTR会議
9月16日	全史料協第3回大会・研修委員会（群馬）
9月21日・22日	立命館大学インターンシップ
9月29日～30日	資料デジタル化研修（基礎編）（国立国会図書館関西館）
10月11日	著作権セミナー（滋賀）
10月15日～11月13日	国民文化祭・京都2011開催記念企画展 「目で見る京都の今昔－写真でたどる京都の変遷－」
10月20日	古典の日読書週間記念講演会：展示（府立図書館）

10月21日	府民講座 トークセッション「写真が語る京都」
10月26日	全史料協第4回大会・研修委員会（群馬）
10月26日	全史料協全国大会事前打合せ（群馬）
10月27日～28日	第37回全史料協全国（群馬）大会
10月28日～11月1日	府庁2号館ロビー展示
11月2日	企画展関連講演会「GLOBALBASEプロジェクトとは」
11月15日	友の会見学会（滋賀）
11月16日～22日	新資料館設計協議結果展
11月22日	京都府議会議員団来館
11月26日～12月18日	展覧会「古典に学び、古典に遊ぶ」
12月1日	京図連協広報委員会（府立図書館）
12月2日	府立高等学校図書館司書研究集会见学来館
12月2日	京都府図書館等連絡協議会実務研修会（京都府総合教育センター）
12月4日	府民講座 シンポジウム「昔の本に見る笑いとスキャンダル」
12月14日	図書館・読書施設等職員中級研修（総合資料館）
平成24年	
1月17日～20日	図書館地区別研修（近畿地区）（大阪市立中央図書館）
1月19日	日本図書館協会図書館建築研修会（奈良県立図書館）
2月6日	第8回アーカイブズ関係機関協議会
2月7日	全史料協第3回東日本大震災臨時委員会（京都）
2月14日	全史料協第5回大会・研修委員会（茨城）
2月23日～24日	全史料協第3回役員会
2月25日～3月25日	総合資料館収蔵品展
2月27日	第8回レファレンス協同データベース事業フォーラム（国立国会図書館関西館）
3月1日・8日・15日	平成23年度歴史資料カレッジ（後期）
3月9日	第19回総合目録ネットワーク事業フォーラム（国立国会図書館関西館）
3月13日	日本古文書学会東寺百合文書見学
3月16日	北海道立図書館来館

18 沿 革

昭和34.	34年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6	「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8	起工式
37. 11. 10	定礎式
38. 10. 28	設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和38年条例第29号）
38. 11. 15	開館式及び祝賀会を挙げる。翌16日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3部9係）
39. 2. 21	文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1	機構改革（係を課とし、3部9課）
39. 11. 14	「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4	京都府開庁100年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
41. 6	民謡調査を開始
42. 8. 11	「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23	京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3部1室9課）
43. 11	昔話調査を開始
45. 4	『京都新聞』（明治18年～昭和44年）のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6	「古文書講習会」を開始
45. 8. 11	「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の3部1室5課）

45. 9. 22 「館蔵品陳列場」(現・2階展示室)を開設
45. 12 資料の寄託制度を開始
46. 1. 1 『資料館だより』創刊
46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15 第2収蔵庫完成(鉄筋コンクリート2階建 延274.76㎡)
46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31 『資料館紀要』創刊
47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置(3部6課)
48. 3. 30 第3収蔵庫完成(鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1702.18㎡)
48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。(庶務課(庶務係、経理係)、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係)
48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
49. 4 有形民俗資料調査を開始
49. 8 教科書を収集
51. 1 「京の百景」を受入れ
51. 5. 26 組織を整理・統合(庶務課(庶務係、経理係)、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係)
51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
52. 4 古文書の公開を開始
52. 1 古文書所在情報調査を開始
53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される。
56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される。
56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
57. 4 古文書センター推進事業に着手
57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
59. 4. 14 「革嶋家文書」及び「袈裟禪文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される。
60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書の複写受付業務を開始
61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
62. 5. 12 「古文書相談」を開始
63. 3. 29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館(昭和63年10月開館)を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例(昭和63年条例第3号)を制定公布
63. 4. 14 ブック・ディテクション・システム(図書持出防止装置)を設置
63. 4. 18 文化資料課を廃止(庶務課(庶務係、経理係)、文献課、歴史資料課の3課2係)
美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
63. 9. 30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止

- 「京都府行政情報資料センター」を廃止
 63.10.1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
 平成元.4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始
 廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元.10.20 第1回「文化講座」を開催
 2.10.8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
 3.5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
 4.4.1 日本図書館協会に再加入
 4.7.1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
 5.4.1 定例休館日を毎月20日から毎月第2水曜日に変更
 5.5.20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
 5.11.7 開館30周年記念事業「北山まつり」を開催
 6.6.4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
 9.4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
 9.6.30 「東寺百合文書」が国宝に指定される。
 10.3.31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
 10.12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
 11.4 京都府20世紀歴史資料保存事業を開始
 12.4 京都府20世紀資料整理事業を開始
 12.9.30 「特別資料室」を閉鎖
 12.10.1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
 12.12.28 文書閲覧室を含め全館休館
 13.3.23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される。
 13.5.11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
 13.7.2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
 13.10.9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
 14.5.23 「総合資料館府民講座」を開始
 14.6.26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される。
 14.7.19 ホームページを開設
 14.11.26 「古文書解読講座」を開始
 14.12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
 15.5.29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される。
 15.11 開館40周年を迎える。
 16.3.25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
 16.4.1 「総合資料館所蔵資料データベース－京都北山アーカイブズ－」の公開開始
 19.12 総合資料館あり方検討プラン策定
 21.1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
 21.3.24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
 21.3.27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
 21.8.25 「古文書入門教室」を開始
 21.9.10 「歴史資料カレッジ」を開始
 21.10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表
 21.10.17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」を開催
 ~11.26
 22.5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（平成24年3月31日現在）

No.	種別	資料名	点数等	概要
1	国宝 (平9.6.30 指定)	東寺百合文書	18,642点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約900年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
2	重要文化財 (昭56.6.9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14.6.26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15.5.29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43.4.25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59.4.14 指定)	袈裟襴文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平20.3.24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

交通案内



京都市営地下鉄
烏丸線・北山駅下車(①出口)
市バス ④ ⑧
北山駅前下車
京都バス ④⑤ ④⑥
前萩町下車



休館日

毎月第2水曜日、祝日法に規定する祝日（日曜日の場合は振替休日）、
年末年始（12月28日～1月4日）、蔵書整理期（不定）

開館時間

午前9時から午後4時30分まで

総合資料館 業務概要

— 平成23年度のまとめ —

発行日	平成24年10月
編集・発行	京都府立総合資料館
	〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4
電話	075-723-4831
ファクシミリ	075-791-9466
ホームページ	http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/
Eメールアドレス	shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp
